

# 藤沢市

## 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会 開催記録集



2022年（令和4年）3月



藤沢市

未来につなぐ東京オリンピック・パラリンピック藤沢市支援委員会

# 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会を終えて



藤沢市長

未来につなぐ東京オリンピック・パラリンピック  
藤沢市支援委員会 委員長

鈴木恒夫

2015年6月、東京2020オリンピック競技大会のセーリング競技が江の島で開催されることが決定され、本市は歓喜に沸きました。その後、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、大会史上初の1年間の延期が決定されたことにより、落胆と不安に見舞われ、大会直前においても感染拡大により開催を危ぶむ声も多くありましたが、2021年7月に東京2020大会を無事に開催することができました。セーリング競技は無観客での開催となったものの、世界中からやってきたトップセーラーにより熱戦が繰り広げられ、その模様はメディアを通じて世界中に発信されました。大会期間中を通して、選手や大会関係者の事故や感染拡大などはなく、盛り上げとおもてなしとともに安全安心な大会運営の面でも、開催会場自治体としての役割を果たすことができました。大会に向けた準備や大会運営などに関わられた全ての皆様に、厚く御礼を申し上げます。

さて、本市では市民参加型の大会実現とレガシーの創出を旗印に、「シティキャストフジサワ」や「藤沢ビッグウェーブ」の皆様を始め、多くの市民の皆様と想いを共有し、大会の盛り上げやハード面・ソフト面からのまちづくりを進めることができました。市民一丸となった取組を通じて、「藤沢市を思う気持ち」はますます育まれ、これからの藤沢のまちづくりへの気運を盛り上げることができたと考えております。

ここに、報告させていただく記録は、セーリング競技の江の島開催が決定してから、新型コロナウイルス感染症の感染拡大が続くなかで実施された本大会の開催に至るまでの気運の盛り上げ、おもてなし、3か国を受入れた事前キャンプ、安全安心な大会運営への支援など、市民の皆様、関係団体及び行政による、開催会場自治体としての一連の活動と成果・レガシーを取りまとめたものです。

これは、1964年大会に続き、本市において2度目のオリンピック開催となった東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向け、私たち藤沢市民が熱い気持ちで取り組んだレガシーと言える活動記録です。今を生きる市民の皆様はもとより、次世代、また、その先の未来の藤沢市民の皆様にも、是非ともご覧いただければ幸いです。

2022年（令和4年）3月

## 巻頭あいさつ ～東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会を終えて～

東京2020大会に向けたあゆみ	2
I 大会の結果概要	4
1 東京2020大会の結果概要	5
2 セーリング競技の結果概要	5
3 セーリング競技選手の成績等	7
4 セーリング競技以外の藤沢市ゆかりの選手の成績等	8
II 大会期における取組	9
1 気運醸成及びおもてなしの取組	10
2 東京2020聖火リレーに関する取組	23
3 事前キャンプの受入れ	26
4 安全安心の取組	32
5 大会後の取組	34
6 大会を終えて	41
III 大会準備期間における取組	46
1 東京2020大会に向けて	47
2 支援方針に基づく取組	51
① 気運を高める取組とスポーツ推進に関する取組	52
② ボランティア等の市民参加に関する取組	68
③ 健康増進に関する取組	79
④ 文化・教育に関する取組	80
⑤ 産業・観光振興に関する取組	86
⑥ 環境に関する取組	87
⑦ 共生社会の推進に関する取組	89
⑧ 救急・医療体制に関する取組	91
⑨ 安全・安心に関する取組	92
⑩ 周辺環境整備に関する取組	93
IV 支援委員会・各種団体等の取組	95
1 未来につなぐ東京オリンピック・パラリンピック藤沢市支援委員会	96
2 支援委員会の各構成団体における主な取組	97
3 市内各種団体等における主な取組	113
V 参考資料	123

## 東京2020大会に向けたあゆみ

2013年1月に東京2020オリンピック・パラリンピック招致委員会から国際オリンピック委員会（IOC）に提出された立候補ファイルでは、セーリング競技の開催会場は、当初、東京都江東区の若洲が候補地となっていました。しかしながら、隣接する羽田空港の航空管制上の制約があり、競技の特性として不可欠となる空撮が困難であるなどの課題が判明したことから、同地での競技開催の調整が困難な状況となり、東京都や公益財団法人東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会（以下、「組織委員会」）、IOC、オリンピック放送機構（OBS）等の関係機関の間で、代替会場となる既存施設の調査検討が行われることとなりました。

代替会場となる既存施設については、全国のヨットハーバーを対象に技術的な調査検討が行われるとともに、IOCの視察なども踏まえ調整が行われた結果、難易度の高い風や波など優れた競技環境を有し、東京からの距離も近く航空管制への影響も少ないこと、また、1964年東京大会のレガシーにもなっていることなどから、江の島ヨットハーバーが会場として選定されました。

その後、2015年6月のIOC理事会に報告され了承を得て、東京2020オリンピック競技大会・セーリング競技の開催会場が江の島に正式に決まりました。1964年の東京大会に続き、再び江の島を舞台にセーリング競技が開催されることは、本市としても、大変名誉なことであり光栄なことでありました。



2015年6月 江の島が開催会場に決定

今大会は、新型コロナウイルスの影響により、大会史上初の1年延期となりましたが、感染拡大が続くなかで開催された2021年夏の大会でも、無観客開催となるなど、その影響は大きく、本市が主体となって取り組む大会関連のイベント等も中止や縮小を余儀なくされました。

本記録集は、このような状況下で開催された本大会の開催に当たり、市を挙げて歩んできた取組の記録です。

本市では、江の島が開催会場に決定したのち、市内19の関係団体で構成する「未来につなぐ東京オリンピック・パラリンピック藤沢市支援委員会」において、市民参加型の大会実現とレガシーの創出を柱に、「地域と市民が元気になること」を活動目標とする支援方針を掲げ、市内関係団体や、神奈川県、組織委員会、競技団体等と連携し取組を進めてきました。



2020年夏季大会の開催都市が東京に決定したことを受けて、2014年6月に記念フォーラムを開催



年月日	内容
2013年(平成25年) 9月8日	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ I O C総会において、2020年夏季大会の開催都市に、東京が選ばれる。 〔当初の開催計画では、セーリング競技の開催会場は、東京都江東区若洲〕</li> </ul>
2014年(平成26年) 1月23日 4月17日 8月5日	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 「2020年東京オリンピック・パラリンピック藤沢市庁内推進会議（会長は市長）」を設置する。</li> <li>■ 市民協働組織「未来（あした）をつかむ東京オリンピック・パラリンピック藤沢市誘致・支援委員会」（以下、「支援委員会」）を設置する。</li> <li>■ 支援委員会において、「東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会藤沢市支援方針」（以下、「支援方針」）を策定する。</li> </ul>
2015年(平成27年) 6月8日 7月16日	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ <u>I O C理事会において、東京2020オリンピック・セーリング競技会場を江の島とする案が承認される。</u></li> <li>■ セーリング競技の江の島開催に伴い、支援委員会において、会議体の名称を「未来につなぐ東京オリンピック・パラリンピック藤沢市支援委員会」に変更する。</li> </ul>
2016年(平成28年) 4月1日 7月20日 8月15日～20日	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 市において、「東京オリンピック・パラリンピック開催準備室」を設置する。</li> <li>■ 東京2020オリンピック・セーリング競技が江の島で開催されることが決定したことを受け、支援方針を改定し10本の柱等を位置付ける。</li> <li>■ リオデジャネイロオリンピック競技大会を市長と職員3人が視察する。</li> </ul>
2017年(平成29年) 3月22日	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 市において、支援方針に位置付ける取組を進めるため、「東京2020大会に向けた庁内アクションプラン」を策定する。</li> </ul>
2018年(平成30年) 4月1日 9月9日～16日	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ <u>「2020応援団 藤沢ビッグウェーブ」（以下、「藤沢ビッグウェーブ」）が始動する。</u></li> <li>■ セーリングワールドカップシリーズ江の島大会2018 が開催される。</li> </ul>
2019年 (平成31年・令和元年) 8月25日～9月1日	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ セーリングワールドカップシリーズ江の島大会2019〔READY STEADY TOKYO - セーリング（オリンピックテストイベント）〕が開催される。</li> </ul>
2020年(令和2年) 3月24日 4月2日 9月28日	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ <u>新型コロナウイルス感染症の感染拡大を受け、I O C及び組織委員会等の関係者間における協議により、東京2020大会の延期が決定される。</u> 〔3月30日に延期後の大会開催日程が決定〕</li> <li>■ セーリングワールドカップシリーズ江の島大会2020の中止が決定される。</li> <li>■ 延期後の聖火リレーの開催日程が決定される。</li> </ul>
2021年(令和3年) 6月11日 6月28日 7月8日 7月23日～8月8日 8月16日 8月24日～9月5日	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 東京2020オリンピック聖火リレーの神奈川県での公道走行中止が決定される。</li> <li>■ 本市で東京2020オリンピック聖火リレー点火セレモニーが開催される。</li> <li>■ <u>東京2020オリンピック競技大会における東京都、神奈川県、千葉県、埼玉県の競技会場は無観客開催が決定する。</u></li> <li>■ <u>東京2020オリンピック競技大会が開催される。</u> 〔セーリング競技開催：7月25日～8月4日〕</li> <li>■ 東京2020パラリンピック競技大会における全競技会場の無観客開催が決定する。</li> <li>■ 東京2020パラリンピック競技大会が開催される。</li> </ul>

# Ⅰ 大会の結果概要

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の結果概要と、本市江の島で開催されたセーリング競技及び本市ゆかりの選手に関する記録です。

## 1 東京2020大会の結果概要

### 東京2020オリンピック競技大会

大会正式名称	第32回オリンピック競技大会（2020／東京）
開催期間	2021年7月23日（金）～8月8日（日）
競技数	33競技 339種目
参加国数	205の国・地域、難民選手団
選手数	11,417人



### 東京2020パラリンピック競技大会

大会正式名称	東京2020パラリンピック競技大会
開催期間	2021年8月24日（火）～9月5日（日）
競技数	22競技 539種目
参加国数	161の国・地域、難民選手団
選手数	4,403人



## 2 セーリング競技の結果概要

開催期間	2021年7月25日（日）～8月4日（木）の11日間
競技会場	江の島ヨットハーバー
種目数	10種目
参加国数	65の国・地域
選手数	350人（250艇）
観客数	無観客で開催



©Tokyo2020



Junichi Hirai / BULKHEAD magazine JAPAN



【セーリング競技種目一覧】

Junichi Hirai / BULKHEAD magazine JAPAN



470級 (男女)



レーザーラジアル級



レーザー級



RS:X級 (男女)



49er級



49erFX級








フォイリングナクラ17級 (男女混合)









フィン級



### 3 セーリング競技選手の成績等（敬称略）

男子470級		女子470級		レーザーラジアル級
				
岡田 奎樹	外園 潤平	吉田 愛	吉岡 美帆	土居 愛実
7位入賞		7位入賞		15位
藤沢市ゆかりの選手				
日本大学 生物資源科学部卒		藤沢市在住		慶應義塾大学 環境情報学部卒

レーザー級	男子RS:X級	女子RS:X級	49er級	
				
南里 研二	富澤 慎	須長 由季	高橋 稜	小泉 維吹
30位	16位	12位	11位	

49erFX級		フォイリングナクラ17級		フィン級
				
山崎 アンナ	高野 芹奈	飯塚 潮吹	畑山 絵里	瀬川 和正
18位		15位		16位



## 4 セーリング競技以外の藤沢市ゆかりの選手の成績等（敬称略）

No.	選手名	競技・主な出場種目	成績	本市とのゆかり
1	山田 恵里	ソフトボール	金メダル	藤沢市出身／御所見小・御所見中卒
2	本多 灯	競泳 男子200mバタフライ	銀メダル	日本大学藤沢高校卒
3	都筑有夢路	サーフィン 女子	銅メダル	藤沢市在住／鶴南小・湘洋中卒
4	武藤 弘樹	アーチェリー 男子団体	銅メダル	慶應義塾大学環境情報学部卒
5	五十嵐千尋	競泳 女子4×100mメドレーリレー	8位入賞	日本大学藤沢高校卒
6	靱木 結花	サッカー 女子	8位入賞	慶應義塾大学総合政策学部卒
7	宮川 麻都	サッカー 女子	8位入賞	藤沢市在住／藤沢総合高校卒
8	木下 桃香	サッカー 女子	8位入賞	慶應義塾大学環境情報学部在学
9	山縣 亮太	陸上競技 男子100m	予選出場	慶應義塾大学総合政策学部卒
10	小池 祐貴	陸上競技 男子100m	予選出場	慶應義塾大学総合政策学部卒
11	塩浦 慎理	競泳 男子4×100mリレー	予選出場	湘南工科大学附属高校卒
12	小堀 倭加	競泳 女子400m・800m自由形	予選出場	湘南工科大学附属高校卒
13	杉田 祐一	テニス 男子シングルス	33位	湘南工科大学附属高校卒
14	青山 修子	テニス 女子ダブルス	17位	近藤乳業(株) 所属
15	石井 美樹	ビーチバレーボール 女子	17位	辻堂小・湘洋中卒
16	原 わか花	7人制ラグビー女子	12位	慶應義塾大学総合政策学部在学
17	岸本 新菜	トライアスロン 混合リレー	13位	日本大学藤沢高校卒
18	木村 朱里	ボッチャBC4ペア	8位入賞	藤沢市役所勤務

### 【金メダル獲得】

### 【銀メダル獲得】

### 【銅メダル獲得】



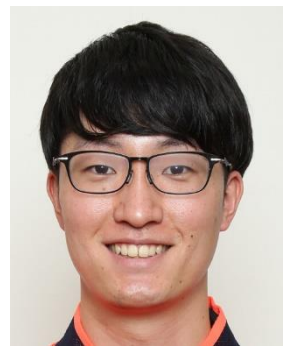
山田 恵里 選手



本多 灯 選手



都筑 有夢路 選手



武藤 弘樹 選手

### 【8位入賞】



五十嵐 千尋 選手



靱木 結花 選手



宮川 麻都 選手



木下 桃香 選手



木村 朱里 選手

選手の顔写真：JOC・JPCホームページから

## II 大会期における取組

大会史上初の1年延期を経て、2021年夏の大会を迎えるに当たり、大会直前期から大会開催期間中、さらには大会後にかけて実施した、藤沢市としての主体的な取組、及び成果・レガシーなどに関する記録です。

## 1 気運醸成及びおもてなしの取組

新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、様々な取組が中止及び縮小を余儀なくされ、選手関係者らとの交流やおもてなしについても、直接的な取組は難しい状況でありましたが、市民の皆様や支援委員会等の関係団体と連携して創意工夫を図り、様々な形で気運の盛り上げと選手関係者へのおもてなしを実現しました。

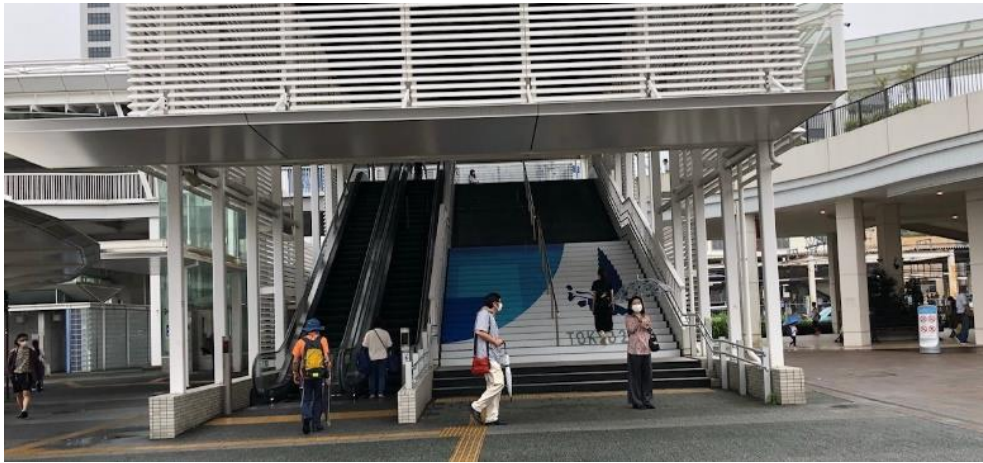
### (1) シティドレッシング（都市装飾）

シティドレッシングは、開催都市東京都と、競技会場の所在する自治体が統一のデザインの横断幕やフラッグ等により各競技会場周辺や街なかを装飾し、大会気運の盛り上げと一体感の醸成を図る取組で、組織委員会及び神奈川県と連携し、役割分担を行うなかで、本大会のオフィシャルデザインの横断幕やフラッグ等を競技会場周辺や主要駅周辺等に施し、地元藤沢で開催されるオリンピック・パラリンピック競技大会の祝祭感を演出するとともに、大会に向けた気運の盛り上げを図りました。



藤沢駅周辺（藤沢駅～市役所）／2021年4月中旬～9月上旬





辻堂駅周辺（北口～神台公園）／2021年5月中旬～9月上旬



湘南台駅（地下通路）／2021年5月中旬～9月上旬



善行駅周辺（東口・西口）／2021年5月中旬～9月上旬





江の島周辺／2021年6月上旬～8月中旬



小田急電鉄



江ノ島電鉄



湘南モノレール

江の島3駅／2021年6月下旬～8月上旬



観光センター・観光案内所／2020年3月～2021年8月上旬



市役所本庁舎／2020年1月～2021年9月上旬



市役所分庁舎／2021年1月～9月上旬



秩父宮記念体育館／2021年1月～9月上旬



## (2) フラワーレーンプロジェクト

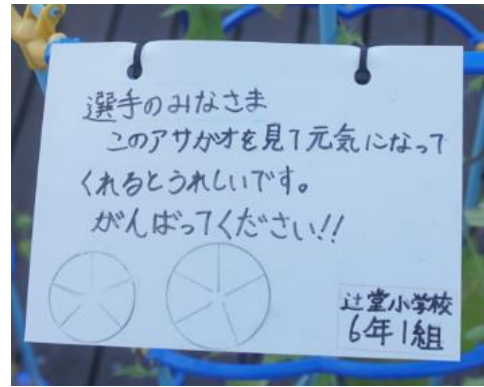
選手や関係者へのおもてなしの取組として、競技会場内にアサガオを配置するフラワーレーンプロジェクトを実施しました。実施に当たっては、アサガオの種まきから生育、応援メッセージの寄せ書きなどを市立小学校3校（辻堂小・富士見台小・大鋸小）の児童の皆様にご協力いただきました。

大会期間中、競技会場内の各所に飾られた満開に咲き誇る360鉢のアサガオは、競技会場を鮮やかに彩りました。「固い絆」、「あふれる喜び」などに代表されるアサガオの花言葉のとおり、地元の子どもたちから選手関係者への心のこもったおもてなしとなりました。

また、神奈川県により、競技会場外の江の島弁天橋入口にもアサガオが設置され、このアサガオが元気な姿でお出迎えができるようにと、シティキャストフジサワの有志が集まり、毎日の水やり活動を行いました。







左のプレートは、2019年6月に村岡小学校で行われたREADY STEADY TOKYO -セーリング〔オリンピックテストイベント〕用の種まきイベントとベニューツアー（会場見学）時の写真が掲載されており、セーリング競技会場内に日本語版と英語版で掲示されました。

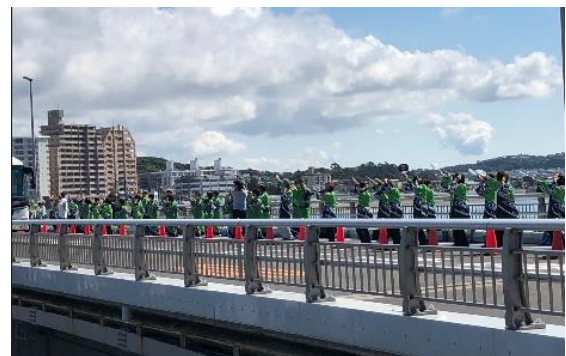
東京2020大会終了後、フラワーレーンプロジェクトにご参加いただいた辻堂小・富士見台小・大鋸小の児童の皆様に、組織委員会から感謝状とストラップがお礼に贈られました。また、当該3校には、IOC、組織委員会など大会関係者からお礼の寄せ書きがしたためられた「のぼり旗」も贈られました。



### (3) 江の島ヨット音頭・東京五輪音頭 - 2020 - でおもてなし

セーリング競技の公式練習のため、セーリング選手村（大磯）や近隣の宿泊施設からバス等で競技会場入りする選手関係者に向けて、2021年7月22日（木・祝）の午前、地元の江の島振興連絡協議会の皆様を始め、江の島さざ波会・夕波会、藤沢商工会議所女性会、藤沢市民踊協会、市内民踊団体、小学生・中学生、市民有志など総勢約200人が、江の島大橋及び江の島北緑地広場で、「江の島ヨット音頭」と「東京五輪音頭 - 2020 - 」の踊りを披露し、選手関係者をお迎えしました。

この取組は、1964年東京オリンピックの際に、盛り上げのために作られ、同大会でも披露された「江の島ヨット音頭」を、今大会でも再び披露し、選手関係者へ歓迎の気持ちを伝えたいとの地元の皆様の強い思いから実現しました。この日のために練習を積み重ね、セーリングワールドカップシリーズや、藤沢市民まつり等で披露するなど、本大会に向けて準備をしてきました。参加者の皆様は、これまでの練習の成果を発揮し見事な踊りを披露され、地元藤沢市を挙げた歓迎ムードいっぱいのおもてなしとなりました。









#### (4) シティキャストフジサワによる選手関係者のお出迎え

セーリング競技開催期間中、競技会場の江の島ヨットハーバー入口で、シティキャストフジサワが手旗や横断幕を掲げてお出迎えし、各国のセーリング競技選手や大会関係者を激励する活動を実施しました。活動に当たっては、参加対象者を県内居住者に限定し、直行直帰を徹底するなど、万全な感染症対策を講じた上で実施しました。



#### (5) シティキャストフジサワによるSNSを活用した動画配信

新型コロナウイルスの感染拡大による行動制限の折、シティキャストフジサワの活動として、セーリング競技開催期間中にSNSを使った動画配信を行い、大会の盛り上げを行うとともに、藤沢市の魅力を発信しました。





## (6) 「セーリング2020ガイド」によるセーリング競技のL I V E 解説

東京2020大会セーリング競技は、藤沢市役所本庁舎（本市主催）と片瀬東浜海水浴場（神奈川県主催）で、東京2020ライブサイトを開催し、ライブでの競技放映と解説を予定していましたが、新型コロナウイルスの感染拡大を受けて、いずれの東京2020ライブサイトも中止となりました。

そこで、ライブサイト中止に伴う代替えの取組として、市民の皆様がセーリング競技を分かりやすく楽しむことができる環境をつくるため、インターネットで中継されるセーリング競技のライブ映像に合わせ、オリンピックとトップセーラーが、SNS（ツイッター）で競技のルールやレースの様態を解説、発信する企画「セーリング2020ガイド」を神奈川県と共同で実施しました。

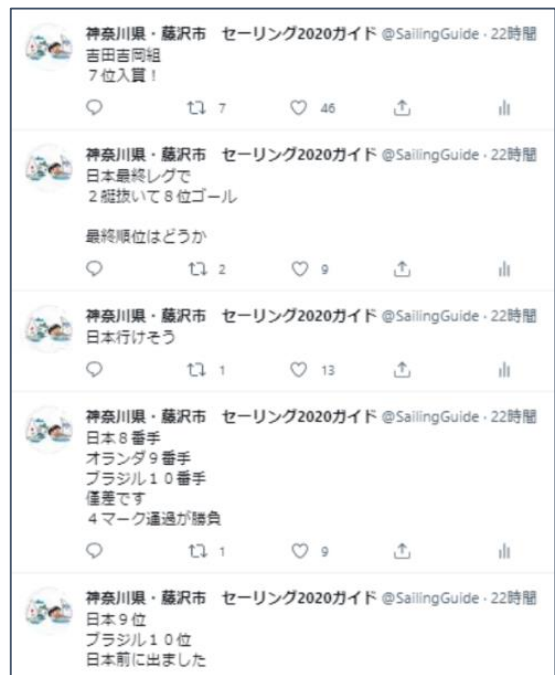
配信期間 2021年7月25日（日）～8月4日（水）

フォロワー数 1,347人（8月4日全日程終了時点）

ツイート数 1,032回（期間中合計）

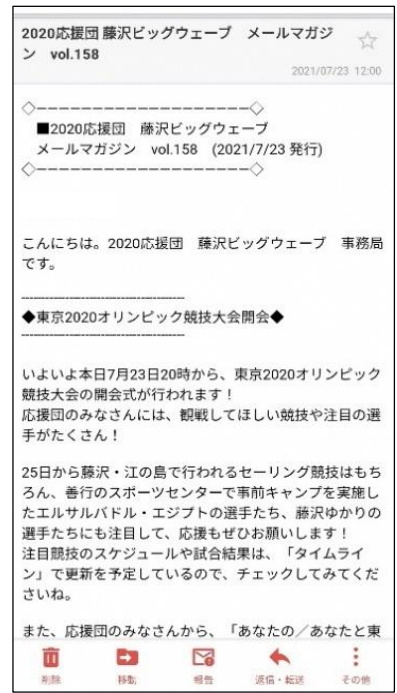
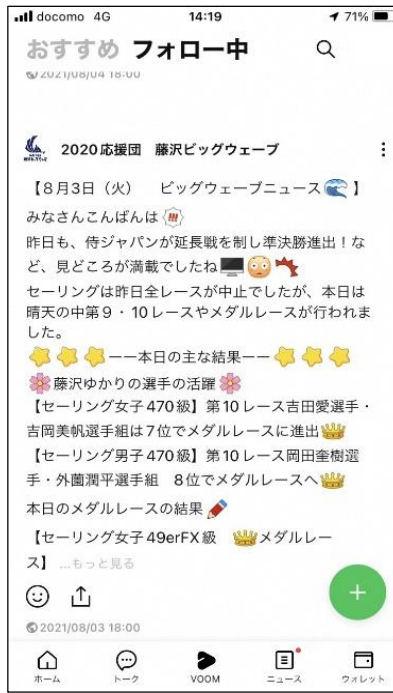
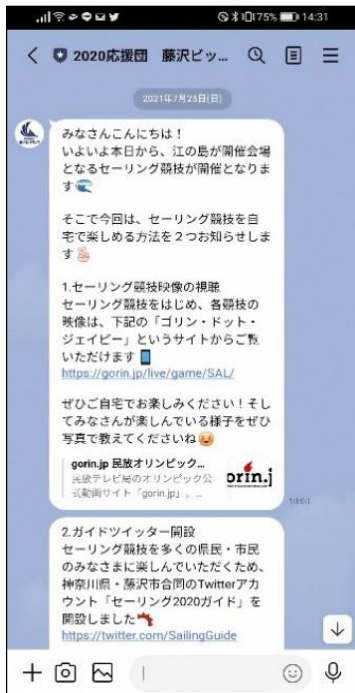
ツイートインプレッション数 1,618,447回（期間中合計）

※インプレッション数とは、ツイートした内容が他のユーザーに表示された回数



## (7) 2020応援団 藤沢ビッグウェーブによる大会情報の随時発信

大会期間中、藤沢ビッグウェーブの団員約18,000人に対し、セーリング競技のレース結果や、本市ゆかりの選手の競技出場結果などの新着情報をSNS（LINE）やメールマガジンで随時配信し、大会の盛り上げを図りました。



## (8) アンセム オンザビッグウェーブ～国歌を通じて国際交流～

東京2020大会の開催を直前に控え、藤沢での歓迎ムードを高めようと、2021年5月22日（土）、表彰式などでも流れる「国歌」に着目したオンラインイベントを藤沢ビッグウェーブの取組の一環として実施しました。国歌にまつわる様々なエピソードの紹介や解説を始め、事前キャンプの協定締結を契機に本市がホストタウンとなる3か国の国歌を海上自衛隊が生演奏するなどのステージパフォーマンスを行いました。





### (9) モザイクアート制作「FUJISAWA2020“ピースでつながるWA”」

シティキャストフジサワの有志が、東京2020大会に向けて藤沢市から盛り上げようと自ら企画し、2020枚のピース写真を集めて藤の花とセーリングのモザイクアートを制作する「FUJISAWA2020“ピースでつながるWA”」を実施しました。多くの市民の皆様にご協力いただき、目標数の2020枚を上回る2087枚のピース写真が集まり、これをもとに制作したモザイクアート作品を市役所本庁舎内に展示して、大会に向けた盛り上げを図りました。

また、本作品は、選手関係者へのおもてなしの一環として、セーリング選手村（大磯）でも展示されました。



### (10) スペイン語創作かるたの制作

シティキャストフジサワの有志の発意により、エルサルバドル共和国の選手団が藤沢市で事前キャンプを実施することを記念して、同国公用語であるスペイン語を使った2種類のかるたを制作し、エルサルバドル共和国の選手関係者に記念品として贈呈しました。

エルサルバドル選手団に藤沢や日本の魅力を知ってもらうための「ふじエル交流かるた」と、スペイン語を楽しみながら学ぶための「スペイン語学習かるた」を制作し、市民の皆様にも楽しんでいただけるよう、データを市のホームページで公開して、大会に向けた盛り上げと、同国との交流を図りました。



**Sea Candle**, es el faro de la isla Enoshima.  
(シー キャンドル エス エル ファーロ デ ラ イスラ エノシマ)

Su luz y colores iluminan en Navidad.  
(スルスイ コロレス イルミナン エン ナビダ)

「Sea Candle (シーキャンドル)」  
は江の島にある灯台です。  
クリスマスシーズンには、  
光と色のイルミネーションで輝きます。

読み	ビエンベニードス
スペイン語	Bienvenidos
日本語	ようこそ

エルサルバドル選手団に贈呈したスペイン語創作かるた

## (11) 藤沢市ゆかりの選手の応援

本市ゆかりの選手の応援や、メダルを獲得した選手らの栄誉を称えるため、市役所本庁舎や選手ゆかりの地域の市民センター・公民館では、大会直前から大会後にかけて、横断幕等の掲出を行ったほか、地元地区では、街なかへのポスター等の掲出や広報紙の発行等で選手の活躍を称えるなど、ゆかりの選手を応援する取組が行われました。

新型コロナウイルスの感染拡大により、人流抑制を呼びかけるなかでの大会となったため、多くの人を集めるライブサイトや、ご当地選手を応援するパブリックビューイングを実施することは叶いませんでしたが、横断幕やポスター、チラシ等で本市ゆかりの選手たちを応援し、メダル獲得を祝福するなどの盛り上げを行いました。



市役所本庁舎正面玄関・9階で掲示



市役所本庁舎1階プロムナードで本市ゆかりの選手の活躍を称える掲示



【 ソフトボール競技で金メダルを獲得！  
山田 恵里 選手のご当地 御所見地区での応援・祝福の様子 】



【 サーフィン競技女子で銅メダルを獲得！  
都筑 有夢路 選手のご当地 鵜沼地区での応援・祝福の様子 】





## 2 東京2020聖火リレーに関する取組

### (1) 東京2020オリンピック聖火リレー

「Hope Lights Our Way/希望の道を、つなごう。」のコンセプトのもと実施されたオリンピック聖火リレーは、大会の1年延期とあわせ、当初予定の1年後の2021年3月25日(木)に福島県を出発し、全国42の道府県を巡った後、43番目として6月28日(月)に神奈川県に到着しました。

神奈川県内では、同月30日(水)までの3日間で開催されましたが、新型コロナウイルスの影響により公道走行が中止となり、各日の最終ゴール地点となるセレブレーション会場で無観客(関係者のみ)により点火セレモニーが代替え実施されました。

本市では、6月28日(月)に予定されていた公道走行〔2区間(江の島北緑地広場～西浜歩道橋付近 / 湘南高校前信号～辻堂神台公園)〕が中止となり、同日の最終ゴール地点を予定していた辻堂神台公園で、聖火ランナーにより聖火を受け渡す「トーチキス」が実施され、当日の最終聖火ランナーのつるの剛士氏(ふじさわ観光親善大使)により、聖火皿へ点火されました。

#### 【オリンピック聖火リレー点火セレモニーの概要】

日時 2021年6月28日(月) 13時～18時

会場 辻堂神台公園

参加者 90人(6月28日に公道走行を予定していた箱根町、伊勢原市、小田原市、大磯町、平塚市、茅ヶ崎市及び本市のランナー)





2021年6月28日（月）に聖火リレーが行われる予定であった藤沢市内のルート（2区間）

## （2）東京2020パラリンピック聖火フェスティバル

東京2020パラリンピック聖火リレーは、オリンピックからパラリンピックへの移行期間である8月中旬に行われました。パラリンピック聖火は、パラリンピック発祥の地イギリスのストーク・マンデビルで採火された火と、全都道府県で採火された火を開催都市の東京都で一つに集火し、パラリンピック聖火としました。

神奈川県内では、パラリンピック競技が開催されないことから、パラリンピック聖火リレーは実施されませんでした。しかし、「聖火フェスティバル」として、神奈川県と、県内全33市町村ごとに生み出した火を一つに集め、「ともに生きる社会かながわの火」として、東京都へと送り出しました。藤沢市では、採火者として、パラスポーツの普及啓発にご尽力いただいている、パラリンピックメダリストで（公財）藤沢市みらい創造財団非常勤職員の石井雅史氏と、藤沢市障がい者スポーツ連絡協議会会長の種田多化子氏の両氏に「平和の灯」から採火していただき、「藤沢の火」として、神奈川県が集火・出立式へ送る予定でしたが、大雨・洪水警報の発令により、東京オリンピック・パラリンピック開催準備室（以下、「開催準備室」）の職員が採火を実施し、「藤沢の火」として、神奈川県へ送り出しました。

### 【パラリンピック聖火フェスティバル「藤沢の火」採火式の概要】

日時 2021年8月15日（日） 10時～10時30分

会場 藤沢市役所分庁舎 平和の灯モニュメント前





神奈川県に送られた  
「藤沢の火」



「平和の灯」から採火された



神奈川県の  
集火・出立式



前列右側が「藤沢の火」

### (3) 聖火リレートーチの展示

聖火リレーに関しては、聖火リレートーチの展示を行い、盛り上げを図りました。

#### ① 「聖火リレートーチが藤沢市にやってくる」

展示日程 2021年6月22日（火）～24日（木）

展示場所 藤沢市役所 本庁舎1階 プロムナード

#### ② 大会公式スポンサー（NTT）との連携による展示

展示日程 2021年6月25日（金）～27日（日）

展示場所 藤沢市観光センター

#### ③ ふじさわ観光親善大使つるの剛士氏の聖火リレートーチの展示

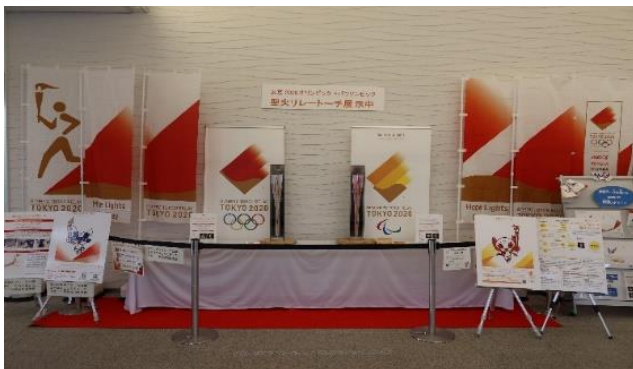
展示日程 2021年7月20日（火）～8月31日（火）

展示場所 藤沢市役所 本庁舎5階 開催準備室内

#### ④ 大会後の展示

展示日程 2021年11月1日（月）～2022年3月25日（金）

展示場所 藤沢市役所 本庁舎5階 開催準備室内



### 3 事前キャンプの受入れ

#### (1) 誘致からホストタウン登録まで

本市では、2013年9月、I O C総会において、2020年夏季大会の開催都市が東京に決定したことを受け、神奈川県や支援委員会等と連携し、各国のオリンピック委員会（N O C）やパラリンピック委員会（N P C）に働きかけるなど、事前キャンプ誘致の活動を進めてきました。

誘致活動の結果、ポルトガル、エルサルバドル及びエジプトの3か国と、県立スポーツセンターを拠点に事前キャンプを実施することについて、各国N O C・N P C等と合意に至り、各国と本市及び神奈川県との間で事前キャンプ実施に関する協定締結に至りました。

また、本市は、これら3か国の「ホストタウン」に登録されるとともに、ポルトガルパラリンピック選手団の受入れは、「共生社会ホストタウン」にも登録され、本大会が1年間延期となるなかでも、ホストタウンの国々との交流を継続し、2021年7月から8月にかけて、3か国の事前キャンプが予定どおり実施されました。

- ※ 「ホストタウン」（内閣官房所管）とは、自治体と東京2020大会に参加する国・地域の住民等が、スポーツ・文化などを通じて交流し、地域の活性化に生かしていく取組です。
- ※ 「共生社会ホストタウン」（内閣官房所管）とは、パラリンピアンとの交流を契機として心のバリアフリーなどの推進を目指す取組です。



ポルトガル事前キャンプ協定締結式  
(神奈川県庁)



エルサルバドル事前キャンプ協定締結式  
(藤沢市役所)



- ※ 「beyond（ビヨンド）2020プログラム」（内閣官房所管）とは、2020年以降を見据え、日本文化の魅力を発信するとともに、共生社会、国際化につながるレガシーを創出することを目的としたホストタウン、文化イベントなどの様々な取組です。



## (2) 事前キャンプの概要

国名	実施時期	実施競技 / 受入れ人数	施設名	ホストタウン登録 / 事前キャンプ実施協定
エジプト (オリンピック)	2021年 7月8日 ～17日 (10日間)	フェンシング  受入れ人数：計19人 (選手14人・関係者5人)	県立 スポーツ センター	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ホストタウン登録 2020年3月31日</li> <li>■事前キャンプ協定締結 2020年11月25日</li> </ul>
エルサルバドル (オリンピック)	2021年 7月13日 ～23日 (11日間)	陸上競技、ボクシング <2競技>  受入れ人数：計10人 (選手2人・関係者8人)		<ul style="list-style-type: none"> <li>■ホストタウン登録 2019年12月27日</li> <li>■事前キャンプ協定締結 2020年1月28日</li> </ul>
ポルトガル (パラオリンピック)	2021年 8月10日 ～24日 (15日間)	競泳、陸上競技、自転車競技、 ボッチャ、バドミントン、 柔道 <6競技>  受入れ人数：計69人 (選手30人・関係者39人)		<ul style="list-style-type: none"> <li>■ホストタウン登録 2019年10月31日</li> <li>■共生社会ホストタウン登録 2019年12月17日</li> <li>■事前キャンプ協定締結 2019年9月9日</li> </ul>

## (3) 事前キャンプ受入れ準備

新型コロナウイルスの影響で大会の延期が決定してからも、本大会の開催に向けて、本市がホストタウンとなる国々とは、互いに友好を深めるためのメッセージ動画を制作するなど、動画を活用した交流やオンライン交流等の取組を進めてきました。

一方で、選手団の受入れに向けては、神奈川県とともに、場面ごとの感染対策を講じるために選手側、受入れ側の双方が遵守すべき事項を始め、感染疑い者発生時等の対応を定めた「受入れマニュアル」を作成するなど、関係機関と連携し、万全な受入れ体制を構築しました。



県立スポーツセンター



各国を歓迎する装飾

#### (4) 事前キャンプ期間中の対応

事前キャンプの実施期間中は、徹底した行動管理のもとで、選手等への健康管理を行うとともに、毎日PCR検査を実施したほか、感染予防のための環境を整備するなど、安全安心を確保し受入れ対応を図りました。

また、選手団の行動が制限されるなかで、市民の皆様との直接的な交流は難しい状況でしたが、本市がホストタウンとなる3か国には、動画により日本文化を紹介しながら江の島観光を楽しんでいただくバーチャルツアーを実施したほか、地元藤沢で活躍される皆様にご出演いただいた歓迎メッセージ動画を放映するなど、可能な限りのおもてなしや交流を実施し、各国の選手団からは大変好評をいただきました。なかでも、JAさがみに協力をいただき、ポルトガル選手団へのおもてなしとして実施した藤沢産果物の提供は、パラリンピック開会式の選手団入場時のNHKテレビでエピソードとして紹介され、藤沢市が全国に発信される貴重な機会となりました。

#### 【エジプト】



#### 【エルサルバドル】



#### 【ポルトガル】



各国選手団が到着





各国選手団練習の様子



各国選手団へのおもてなし



各国選手団との交流





各国選手団との交流



各国選手団をお見送り

### (5) ホストタウン交流の取組

本市がホストタウンとなる国々とは、これまで、ともに友好を深めるための応援メッセージ動画を制作するなど、動画を活用した交流を始め、市内医療従事者へのコーヒーの寄贈や、事前キャンプ実施国の現地と結んで行ったオンライン交流等、様々な取組を通じて、国際理解や多文化共生を推進し、障がい者理解を深めるなど、共生社会実現に向けた意識の醸成が図られました。

大会終了後も、事前キャンプ実施を契機としたホストタウンの取組は、これまでに培った各国との関係性を生かし、大使館職員や関係者の協力のもと、各国の紹介や文化イベントを実施するなど、今後も継続的に国際交流の取組を進めていきます。



ポルトガル料理教室



ポルトガル パラリンピック委員会  
会長からのメッセージ動画公開



エルサルバドル オリンピック出場  
有力選手からのメッセージ動画公開





市民の皆様にご出演いただいた歓迎メッセージ動画



エルサルバドル大使館から  
医療従事者へのコーヒー寄贈

エルサルバドルで藤沢市の魅力を  
紹介する動画を公開

エルサルバドル オリンピック選手団  
ユニフォーム完成披露会動画公開



市内中学生とポルトガルのパラリンピック  
出場候補選手らがオンラインにより交流



御所見公民館との連携事業  
「エルサルバドルの文化を知ろう！」

## 4 安全安心の取組

### (1) 危機管理に関する取組（防災安全部）

本大会の開催に当たり、テロや津波、その他大規模災害の発生時において、円滑かつ的確な対応が図れるよう、組織委員会や神奈川県、警察等と連携し、情報を共有しながら取組を進めました。

本市の危機管理対応に当たっては、庁内各部局と横断的に連携し、事前準備の期間、大会直前期、そして大会開催期と、それぞれのフェーズにあわせて段階的に警戒を強化するとともに、市警戒本部を中心とする危機管理体制を構築し、不測の事態に備えました。また、セーリング競技開催期間中には、競技会場周辺の警戒や情報収集を行い、危機管理対応を図りました。



セーリング競技開催期間中の競技会場周辺における警戒活動

### (2) 消防・救急に関する取組（消防局）

オリンピック開催決定を受け、安全安心な大会運営を目指し、消防局では、2019年4月から組織委員会警備局へ職員1人を派遣し、組織委員会との連携を図りつつ、消防車両や資機材の計画的な整備、県内消防本部による応援体制の構築、関係機関等と連携した訓練を継続して実施するとともに、セーリング競技会場や市内の宿泊施設、危険物施設などの大会関連施設に対し防火査察を行いました。

大会期間中は、テロによる特殊災害や大規模災害等による多数傷病者発生に備え、競技会場内に専用の救急車3台の配備を始め、江の島周辺はもとより市内全域の警備を強化し、万全な警戒体制でオリンピック警備を実施しました。



競技会場専用救急車



片瀬漁港待機状況



県内消防本部応援状況



江の島周辺を警備する消防団員



### (3) 医療・感染症等に関する取組（健康医療部・保健所・市民病院）

競技会場内の医療対応においては、セーリング競技の開催期間中、江の島会場の医療責任者として市民病院から医師を派遣、さらには、競技会場内の医務室に藤沢市医師会から医師と看護師を派遣していただくなど、関係機関と調整を図り、大会運営に協力しました。

また、新型コロナウイルス感染症対策については、神奈川県が主体となり、組織委員会や関係自治体、医療機関等で構成する「神奈川県新型コロナウイルス感染症対策に関する東京2020大会協議会」が設置され、県内の自治体や医療機関において、「神奈川モデル」に基づいた統一的な運用となるよう対応が図られました。

本市においても、地域医療への影響が最小限となるよう保健所や医療機関と連携するなかで、安全安心の大会運営に関し、地元自治体として支援を行いました。

### (4) 競技会場周辺の交通規制にかかる対応

セーリング競技の開催に当たっては、2021年7月13日（火）から8月5日（木）までの24日間、江の島大橋から島内の臨港道路において、終日、一般の自動車・バイクを対象とした交通規制が行われました。規制を実施する組織委員会と連携し、江の島の住民や事業者の皆様に対する説明会の開催、規制チラシの配布、さらには、組織委員会が発行する「通行確認証」の手続きへの支援など、日常生活に支障が生じないよう対応を図りました。

※大会開催による交通規制は、江の島大橋・島内のほか、小田急電鉄片瀬江ノ島駅前とスバナ通りにおいて、時間を区切り実施される予定でしたが、セーリング競技が無観客で開催されることになったことから、これら区間での交通規制は、実施されませんでした。



江の島入口交差点における交通規制の様子

## 5 大会後の取組

本市では、大会を契機としたレガシーづくりや、大会開催に当たりご尽力いただいた藤沢ビッグウェーブの皆様、シティキャストフジサワ、また、大会に出場され活躍された本市ゆかりのアスリートの皆様へ感謝の意を込めて、大会後も様々な取組を実施しました。

### (1) 都筑有夢路選手 銅メダル獲得 市長表敬訪問

サーフィン競技女子で、荒波の難しいコンディションを乗り越え見事銅メダルを獲得した、藤沢市出身の都筑有夢路選手が、藤沢市サーフィン協会佐賀会長（藤沢市議会議長）とともに、鈴木市長へ銅メダル獲得の報告のため、藤沢市役所に来庁されました。

日 時 2021年8月12日（木） 10時～10時30分



### (2) 都筑有夢路選手への藤沢市市民栄誉賞贈呈式

サーフィン競技女子で銅メダルを獲得し、広く市民の皆様にも明るい希望と誇りを与えていただいた都筑選手に、市民栄誉賞を贈呈しました。贈呈式は、都筑選手の母校である湘洋中学校で行われ、新型コロナウイルス感染対策のため、都筑選手はオンラインによりご出席いただきました。受賞の様子は、同校全クラスに映像をつなげて行われ、多くの後輩たちが都筑選手の受賞を祝福しました。

日 時 2021年9月7日（火） 11時45分～12時15分

場 所 藤沢市立湘洋中学校 体育館





### (3) 山田恵里選手への藤沢市市民栄誉賞特別賞贈呈式・ゴールドポスト設置全国第1号

ソフトボール競技で日本代表チームの主将を務め、2008年の北京大会に続き、13年ぶり2度目となる金メダルを獲得された山田恵里選手に、その栄誉を称え、藤沢市市民栄誉賞特別賞の贈呈を行いました。贈呈式は、山田選手の母校である御所見中学校の体育館で行われ、式典後は、各クラスを巡回し、後輩となる多くの在校生から祝福を受けました。

また、同日、内閣官房東京オリンピック・パラリンピック推進本部事務局が日本郵便株式会社と協力して推進している「ゴールドポストプロジェクト」の全国第1号として、山田選手の功績を称えた「ゴールドポスト」を、山田選手の地元である御所見郵便局に設置しました。当日は、母親への感謝の思いをしたためた手紙を山田選手ご自身が投函し、ゴールドポストへの最初の投函者となりました。

#### 【藤沢市市民栄誉賞特別賞贈呈式】

日 時 2021年9月24日（金） 11時～11時30分  
場 所 藤沢市立御所見中学校 体育館



#### 【ゴールドポスト設置お披露目】

日 時 2021年9月24日（金） 12時～12時30分  
場 所 御所見郵便局前ポスト

### (4) 木村朱里選手が大会出場の結果を市長へ報告

本市職員で、ボッチャ競技BC4ペアに出場し、8位入賞した木村朱里選手が、市長へ出場結果の報告を行いました。

初出場となったパラリンピックの大会の様子や試合出場の感想、今後の大会予定や目標などを市長ら市幹部に報告しました。

日 時 2021年9月21日（火） 17時15分～17時45分



### (5) ピカピカプロジェクト～1964年聖火台&東京2020セーリングモニュメント～

1964年大会に続き、2021年夏に開催された東京2020大会を終えて、江の島弁天橋のもとに設置されていた今大会の記念モニュメントが、設置者の神奈川県により、競技会場となった江の島ヨットハーバー内の1964年東京大会の聖火台横に移設され、これを記念する式典の開催に先立ち、本市でオリンピックが2度開催された証として並び建つ両大会の記念モニュメントを、きれいな姿で後世に引き継いでいけるよう、「まちの彫刻ピカピカプロジェクト」の一環として清掃作業を行いました。

日 時 2021年11月27日（土） 9時～10時30分  
場 所 江の島ヨットハーバー  
参 加 者 シティキャストフジサワ10人、鈴木市長、佐賀議長ほか  
主 催 開催準備室／文化芸術課



市内に所在するパブリックアートの調査・維持などを進める「まちの彫刻ピカピカプロジェクト」の一環として実施



清掃作業終了後、神奈川県主催でモニュメント移設記念式典を開催  
藤沢市からは、鈴木市長、佐賀市議会議員、湯浅江の島振興連絡協議会・観光協会会長、  
増田商工会議所会頭、林体育協会会長らが出席



**(6) 藤沢アスリート報告会 ～Tokyo2020・たくさんのARIGATOを届けよう！～**

コロナ禍のなか、世界の強豪を相手に奮闘する選手たちの姿は、たくさんの市民の皆様  
に勇気と感動を与えてくれました。大会に出場され、活躍された本市ゆかりの選手の皆様  
に感謝の意を伝えるため、オンライン配信によるライブイベントを実施しました。

日 時	2021年11月27日（土） 13時～14時30分
会 場	藤沢市役所本庁舎サンセット広場 特設会場
開催方法	オンラインによりライブで配信
出 演	吉田 愛 選手／吉岡 美帆 選手（セーリング女子470級・7位入賞） 山田 恵里 選手（ソフトボール・金メダル獲得）
司 会	宮川 浩子 氏（フリーアナウンサー） つるの 剛士 氏（ふじさわ観光親善大使）
内 容	本市ゆかりの選手 メッセージ動画出演 視聴者参加型企画 ほか
観 覧 者	藤沢ビッグウェーブの皆様ら70人がイベント会場内で観覧
視 聴 者	ライブ配信視聴者 約1,000人 〔アーカイブ映像をオンラインで公開（2022年3月末日まで）〕

**(7) シティキャストフジサワ サンクスイベント**

約2年半の長きにわたり、多くの貢献をいただいたシティキャストフジサワの皆様へ感謝の意を伝えるとともに、これまでの歩みを振り返る「サンクスイベント」を実施しました。このほか、シティキャスト有志の発意による様々な企画の発表があり、シティキャスト同士で仲間を募ったり、交流を深めたりという貴重な機会となりました。

日 時	2021年12月11日（土） 13時30分～16時30分
会 場	藤沢市民会館大ホール
内 容	これまでの活動の振り返り シティキャスト活動まとめ動画放映 チームFUJISAWA2020の概要説明・登録依頼 シティキャストによる企画発表 ほか
参 加 者	約270人



大会エンブレムの法被を着用して  
東京五輪音頭-2020-を披露



イベントの最後に皆で記念撮影

### (8) セーリングイメージオブジェ展示

東京2020大会のセーリング競技会場である、本市江の島ヨットハーバーを訪れ、大会を振り返っていただくため、「セーリング」、「波」、「風」をイメージした、藤沢ならではのエレガントなオブジェを江の島ヨットハーバーで展示しました。

夜間は、関東三大イルミネーションである「湘南の宝石」と連携し、江の島ヨットハーバー内のライトアップとともに光で彩りました。なお、本オブジェは、東京2020ライブサイト開催期間中、会場に展示する予定だったもので、藤沢市出身の空間デザイナー長谷川喜美氏がデザインしました。

展示期間 2021年12月23日（木）～2022年2月28日（月）8時～18時

ライトアップ時間：17時～18時

※2021年12月23日（木）～26日（日）は、江の島ヨットハーバーのヨットイルミネーションの期間に合わせ、21時まで展示時間とライトアップ時間を延長

展示場所 江の島ヨットハーバー 休憩棟内





### (9) 山田恵里選手による技術指導・講演会

2021年10月1日に制定された藤沢市スポーツ都市宣言の記念事業及びソフトボール競技の更なる普及のため、市内の公立中学校8校（市立7校、私立1校）のソフトボール部選手・指導者を対象として、2008年の北京大会と、今大会の金メダリスト山田恵里選手による技術指導・講演会を開催しました。金メダリストから直接指導を受けた選手たちの中から、未来のオリンピック誕生が期待されます。

日 時 2022年1月8日（土） 13時～16時30分  
会 場 藤沢市立湘洋中学校 グラウンド・体育館  
参加生徒 90人



### (10) シティキャスト交流会

シティキャストフジサワの有志により発案されたことをきっかけとして、同じ地域に住むシティキャスト同士が顔見知りになり、地域であいさつを交わせるような関係性をつくることを目的とした交流会を、片瀬・辻堂・鵜沼の3地区で実施しました。

大会期間中の案内活動中止となったシティキャストメンバー相互の交流が図られ、今後の地域でのボランティア活動につながる、仲間づくりの場となりました。

#### 【片瀬地区交流会】

日 時 2021年10月23日（土）  
14時～15時30分  
会 場 江の島ヨットハーバー  
参加者 15人



#### 【辻堂地区交流会】

日 時 2022年1月16日（日）  
14時～16時  
会 場 辻堂市民センター  
参加者 22人



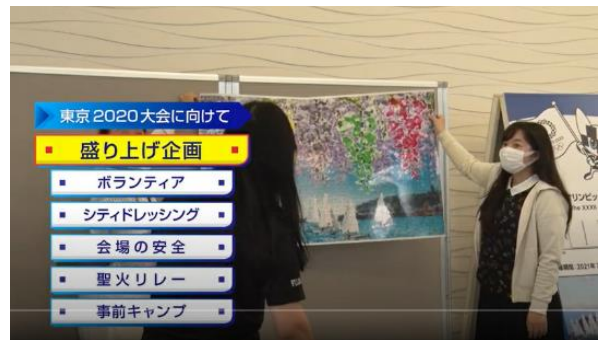
【鵜沼地区交流会】

日 時 2022年1月17日（月）  
19時～21時  
会 場 鵜沼市民センター  
参 加 者 26人



（11）記録映像及び記録集データの公開

東京2020大会の記憶と大会開催関係者の活動記録を後世に残し、伝えていくため、これまで実施してきた気運醸成やボランティア等市民参加の取組、セーリング競技やパラスポーツの普及啓発、国際交流事業など、大会に関連する様々な取組の様相を収めた記録映像（動画）と、写真・資料などをまとめた記録集データ（本データ）を制作し公開しました。





## 6 大会を終えて

### (1) 開催会場自治体として

2015年6月、東京2020オリンピック競技大会セーリング競技の江の島開催の決定を受け、市民参加型の大会実現とレガシーの創出を柱として、「地域と市民が元気になること」を活動目標とする支援方針を掲げました。本市では、この方針に基づき、気運の醸成、セーリング競技の普及啓発、シティキャストフジサワ（藤沢市都市ボランティア）の運営、さらには、誘致活動の末に3か国が事前キャンプを実施するなど、各種事業に取り組んできました。



Junichi Hirai / BULKHEAD magazine JAPAN



このようななか、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、史上初めて大会が1年延期されることとなりました。その後も感染拡大は収まらず、2021年夏に開催された大会においても、本市が主催するライブサイトやシティキャスト、神奈川県における聖火リレーなどの関連イベントの中止や縮小が余儀なくされ、さらには、多くの競技会場と同様にセーリング競技会場となる江の島ヨットハーバーも無観客での開催となりました。

また、新たに感染症対策が必要となるなど、大会運営に際し非常に厳しい状況でありましたが、地元江の島の皆様や支援委員会を始めとした関係団体と連携し、参画・協力をいただくなかで、創意工夫を図り、大会気運の醸成やおもてなしなど市を挙げて取組を進めてきました。

医療や救急、危機管理等の分野においては、新型コロナウイルス感染症対策を始めとした多岐にわたる対策について、神奈川県や庁内関係各課等と連携し、万全を期して臨みました。その結果、安全安心の大会を実現しつつ、盛り上げとおもてなしの両立を図るといふ、地元自治体としての大きな役割を果たすことができました。

## (2) 本市における取組成果とレガシー

1964年大会に続き再び競技会場となった江の島は、120年を超える大会の歴史において、セーリング競技で初めて、同じ会場で2度目のオリンピックが開催された地となりました。57年ぶりに当地で開催された今大会でも、前回大会と同様に白熱のレースが繰り広げられました。

遠く富士を臨み相模湾に佇む緑の江の島の景観は、炎天下のなか連日厳しいレースに挑む世界各国の選手関係者らの心を潤わせ、地元を挙げた江の島ヨット音頭・東京五輪音頭-2020-でのお出迎えなど数々のおもてなしとともに、会場運営全般とあわせて、各国の選手関係者らから感動と称賛の声をいただきました。また、今大会を通じて、空や海から江の島を映し出した映像が国内外に配信され、世界に誇る景勝地江の島を発信するまたとない機会となりました。



Junichi Hirai / BULKHEAD magazine JAPAN



Junichi Hirai / BULKHEAD magazine JAPAN

今大会の実施に当たっては、大会に向けた情報発信と盛り上げの核として、2018年4月に設立した「2020応援団 藤沢ビッグウェーブ」に1万8千人を超える方にご登録いただいたほか、シティキャストフジサワの応募に際し定員の3倍を超えるご応募をいただくなど、多くの市民の皆様は大会に関心を寄せていただくとともに、様々な形で大会に参画していただきました。



## 【東京2020大会を通じた本市の主な取組成果】

### ◇市民参加型大会の実現

シティキャストや藤沢ビッグウェーブなどの取組を通じて、多くの市民の皆様ボランティアとして大会に参画していただきました。また、多様な主体による自発的な企画・活動を積極的に支援し、市民参加型の大会を実現しました。

### ◇スポーツへの意識の向上

江の島で開催されたセーリング競技を始め、オリンピック・パラリンピックの開催を契機として、スポーツに触れ、親しむ機会を積極的に提供し、生涯スポーツやパラスポーツなど、スポーツを通じた健康づくりなどへの意識の向上が図られ、スポーツ全般に対する気運が高まりました。

### ◇共生社会の推進

本市は、ポルトガルパラリンピック選手団の事前キャンプ受入れに伴うパラリンピアンとの交流や、パラリンピック開催を契機とした取組などを通じて、障がい者理解を深め、互いを認め合うこと、他者を尊重することの重要性などを学び、大会を通じ多くの気づきを得ることができました。

### ◇国際交流の推進

国際大会や練習を目的に世界中から本市を訪れたセーリング競技の海外選手や、本市で事前キャンプを実施する3か国（エジプト・エルサルバドル・ポルトガル）の選手関係者らと、子どもたちを始めとする多くの市民の皆様が交流する機会を様々な形で創出し、国際交流の推進とともに国際理解を深めることができました。

### ◇子どもたちの大会への参画機会の創出

小学校・中学校と連携し、オリンピック・パラリンピアンを講師に招いた講演や、フラワーレーンプロジェクトを始めとする大会関連事業の実施など、次代を担う子どもたちの生涯の思い出に残る体験となるよう、大会に関わる機会の創出を図りました。

### ◇江の島周辺等における施設・環境整備

大会開催を契機として、江の島島内及び周辺の公衆トイレや観光案内サインの整備、弁天橋の改修、片瀬江ノ島駅前の交通空間（ロータリー）の整備、県立スポーツセンター西側昇降機の整備など、競技会場周辺等の環境整備に取り組み、利便性や安全性の向上を図りました。

## 【未来に向けたレガシー】

### ■ ボランティアレガシー「チームFUJISAWA2020」の始動

東京2020大会を契機として、ボランティア活動を一層身近なものとする、ポータルサイトを活用した取組、「チームFUJISAWA2020」を今大会のレガシーとして、2021年10月1日に稼働しました。ボランティアに関する情報を取得しやすい環境を提供することで、本市のボランティア活動が一層盛んになるよう取組を進めてまいります。



### ■ 「スポーツ都市宣言」の制定

東京2020大会を契機としたスポーツに関する気運と意識の高まりを、レガシーとして未来につなげていくため、2021年10月1日に制定した「スポーツ都市宣言」に基づき、「いつでも・どこでも・だれでも・いつまでも」スポーツに親しみ、生涯にわたり健康で豊かなスポーツライフを楽しめるよう取組を進めてまいります。



上記のほか、ハード・ソフトを問わず、多岐にわたる分野において、支援委員会や市民団体、庁内各課等と連携し、数々の取組を進めてきました。

2度のオリンピック開催で得た一体感や経験を生かし、ボランティア及びスポーツ気運の高まりを始めとする今大会の成果・レガシーを着実に次世代に引き継いでいけるよう、今後も取り組んでまいります。



### (3) 未来に向けて

今大会の開催は、本市にとって、スポーツや健康に関心を高めていただく好機となりました。大会を契機とした生涯スポーツやパラスポーツに関する気運の高まりを受け、「藤沢市スポーツ都市宣言」の制定を始め、障がい者のスポーツ環境の構築等を目的に「藤沢市障がい者スポーツ連絡協議会」を設立したほか、市内スポーツ関連の6団体による「藤沢市スポーツ連盟」が新たに組織されました。また、セーリングの普及啓発事業とともに、パラスポーツフェスタやボッチャ競技大会など、誰もが参加できるスポーツの機会の充実に努め、オリンピック・パラリンピックの開催をきっかけに、多くのスポーツ関連施策・事業の推進が図られました。

大会を契機としたスポーツ気運の盛り上がりとともに、市民一人ひとりが「いつでも・どこでも・だれでも・いつまでも」スポーツに親しみ、生涯にわたり健康で豊かなスポーツライフを楽しめるようにとの「藤沢市スポーツ都市宣言」の理念を、後世につないでいけるよう、着実に取り組んでまいります。

東京2020大会は、オリンピック・パラリンピックの基本理念である「人権尊重と平和の実現」のもと、「多様性と調和」をコンセプトの一つとして開催されました。コロナ禍で開催された今大会ではありましたが、様々な市民参加の取組や交流事業を通じて、多くの市民の皆様が喜びや感動を分かち合い、人の和やマルチパートナーシップを深めるなど、多様性を認め合い、共生社会を推進するまたとない機会ともなりました。

本市の市民活動は、前回、1964年の東京オリンピックをきっかけに活発化された歴史があります。新型コロナウイルスの感染が拡大する困難な状況のなか、今大会でも、多くの市民の皆様が藤沢市のためにと立ち上がり、大会成功のために力を貸してくださいました。自主的な活動も数多く企画・実施され、これら今大会に関わっていただいた多くの皆様は、活動を通じて藤沢への愛着と誇りを一層深めていただけたものと思っております。今大会を通じて培った市民力・地域力、さらには、チームFUJISAWA2020、スポーツ都市宣言を始め、今大会で創られた数々の成果・レガシーを、藤沢の輝かしい未来へ向けた新たな活力として、次世代へ、その先の未来へと着実に引き継いでいけるよう、しっかりと取り組んでまいります。



## III 大会準備期間における取組

2015年6月、東京2020オリンピック・セーリング競技が江の島で開催されることが決定した後、開催会場自治体としての藤沢市が実施してきた取組に関する記録です。



## 1 東京2020大会に向けて

本市では、市民の皆様の熱意とご支援のもと、2015年6月に開かれたIOC理事会において、東京2020オリンピック競技大会のセーリング競技の会場を江の島（湘南港）とする案が承認され、江の島でオリンピックが開催されることが正式に決まりました。

セーリング競技は、第1回大会から競技種目となっていますが32回を数えるオリンピック史上、これまで、同じ会場で競技が開催されたことはありませんでした。

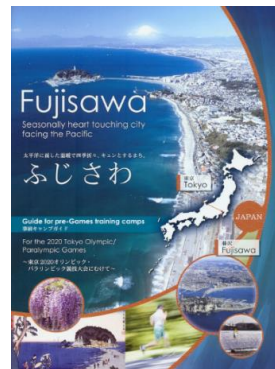
今回、1964年大会に続き、再び江の島を舞台としてセーリング競技が開催されたことは、本市としても、大変名誉なことであり光栄なことでありました。

本市では、江の島開催が決定した後、市内の産業、医療、大学、スポーツ及び市民活動などに関わる18団体に、市を加えた19団体により、支援委員会を組織し、市民参加型の大会実現と、未来に向けたレガシー創出など、大会に向けて定めた支援方針に基づき、様々な取組を進めてきました。

ここでは、主に江の島開催が決定した後からの本市における取組について、いくつか紹介します。

### (1) 2016年リオ大会の視察

セーリング競技の江の島開催決定を受けて、2016年8月16日（火）～18日（木）の日程で、鈴木市長がリオ大会を視察しました。視察では、セーリング競技会場で日本代表選手団を激励したほか、各国オリンピック・パラリンピック委員会（NOC・NPC）や各国競技団体（NF）へ事前キャンプ誘致のリーフレット等で本市のPRを行いました。



## (2) 大会に係る各種計画の策定

東京2020オリンピック・セーリング競技が江の島で開催されることが決定したのち、本市では、関連施策・事業を推進するため、次のとおり各種計画等を策定しました。

大会の1年延期をふまえ、すべての計画等ともに対象期間を1年間延長しました。

新型コロナウイルスの感染拡大を受け、すべての計画等における個別の施策・事業については、感染症対策、安全安心を第一として対応しました。

No.	計画等の名称	計画等の概要	策定期間	対象期間
1	東京2020大会に向けた 庁内アクションプラン	市民参加の推進とレガシー創出に向けた全庁対象としたプラン	2017年3月	～ 2022年3月
2	藤沢市大会関連 ボランティア等推進計画	市民参加型の大会の実現を目的に戦略・ビジョンを定める	2017年6月	
3	藤沢市大会関連 ボランティア等実施計画	推進計画で定めた事項を基本に各取組の具体的な内容を定める	2018年3月	
4	藤沢市オリンピック・ パラリンピック 教育プログラム	市民や子どもたちの心身の健やかな成長に寄与することを目的として策定	2017年12月	
5	藤沢市オリンピック・ パラリンピック 文化プログラム	本市の文化芸術と郷土歴史を国内外に発信していくことを目的として策定	2018年3月	

## (3) 開催準備にかかる本市の執行体制

本市では、2013年9月、I O C総会において2020年夏季大会の開催都市に東京が選ばれたことを受け、2014年1月、庁内に市長を会長として、副市長、教育長、及び全部局長で構成する「2020年東京オリンピック・パラリンピック藤沢市庁内推進会議」を設置し、東京2020大会に向け、全庁を挙げて取り組む体制を整えました。

その後、2015年6月のI O C理事会において、東京2020オリンピック・セーリング競技が江の島で開催されることが決定したことを受け、開催準備に向けた組織編成及び人員配置を行い、執行体制を段階的に強化してきました。

2015年7月に企画政策課内に準備担当を設置、その後、2016年4月に企画政策部に「東京オリンピック・パラリンピック開催準備室」を設置、また、2017年4月からは、組織改正により生涯学習部の所管となりました。また、2017年4月からは、兼務職員を位置づけ、庁内全体での事業推進に向けて、一層の体制強化を図りました。

加えて、2015年10月からは神奈川県に、更に2018年4月からは、組織委員会に職員をそれぞれ派遣し、連携を図りながら、着実に準備を進めてきました。



【職員の配置体制の経過】

年月日	内 容
2015.7.1	企画政策課内に「東京オリンピック・パラリンピック準備担当」を設置
2015.10.1	神奈川県政策局総務室オリンピック・パラリンピックグループへ職員1人を派遣
2016.4.1	企画政策部内に「東京オリンピック・パラリンピック開催準備室」を設置 神奈川県スポーツ局オリンピック・パラリンピック課へ職員1人を派遣
2017.4.1	組織改正により、開催準備室の所管が企画政策部から生涯学習部に変更
2018.4.1	組織委員会大会運営局へ職員1人を派遣
2019.4.1	組織委員会へ職員2人を派遣(派遣部署：会場整備局1人、警備局1人)

【年度別の人員体制】

区 分	年 度						
	2015 (H27)	2016 (H28)	2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (H31/R1)	2020 (R2)	2021 (R3)
職 員	2人 (7月～)	6人	8人	11人	11人	11人	11人
(兼務職員)	－	－	(6人)	(6人)	(15人)	(15人)	(15人)
神奈川県 への派遣職員	1人 (10月～)	2人	1人	1人	1人	1人	1人
組織委員会 への派遣職員	－	－	－	1人	3人	2人	2人
非常勤職員 臨時職員ほか	－	2人	3人	9人	10人	11人	11人
合 計 (兼務職員除く)	3人	10人	12人	22人	25人	25人	25人

#### (4) 予算執行の状況

開催準備室が設置された2016年度から大会が開催された2021年度までの6年間に、開催準備に当たり直接的に要した経費に関する執行状況です。

下表については、以下の考え方のもと積算しています。

- ・2016年度から2020年度までの5年間は、決算額を記載しています。
- ・2021年度については、2020年度からの繰越予算分を含め、現時点での執行見込額を計上しています。

#### 【年度別の予算執行の状況（オリンピック開催準備関係費）】

年度	執行見込額 (2016～2020年度は決算額)			予算執行の主な内容
	合計	財源内訳		
		特定	一般	
2016(H28) 年度	22,388	7,429	14,959	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ リオ大会を市長と職員3人が視察</li> <li>■ リオ大会セーリング競技パブリックビューイング実施</li> <li>■ ボランティアシンポジウム開催 等</li> </ul>
2017(H29) 年度	32,239	11,867	20,372	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 大会1000日前記念イベント</li> <li>■ オリンピアン・パラリンピアン教室</li> <li>■ ボランティアフォーラム 等</li> </ul>
2018(H30) 年度	68,474	14,484	53,990	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 大会2年前記念イベント</li> <li>■ 国際レース観戦イベント</li> <li>■ ワールドカップシリーズへの支援</li> <li>■ 大会500日前記念イベント 等</li> </ul>
2019 (H31/R1) 年度	106,012	13,713	92,299	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 大会1年前記念イベント</li> <li>■ セーリング選手関係者と児童生徒らとの交流</li> <li>■ ワールドカップシリーズへの支援</li> <li>■ シティキャストフジサワの募集及び研修 等</li> </ul>
2020(R2) 年度	131,364	12,832	118,532	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 大会100日前記念オンラインイベント</li> <li>■ 庁舎等の装飾</li> <li>■ ホストタウン各国とのオンライン交流</li> <li>■ シティキャスト リスタートイベント 等</li> </ul>
2021(R3) 年度 ※執行見込額	263,384	21,678	241,706	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 事前キャンプにおける3か国の受入れ・交流</li> <li>■ シティキャストフジサワの研修・運営</li> <li>■ 「チームFUJISAWA2020」サイトの構築・運営</li> <li>■ アスリート報告会</li> <li>■ 記録映像の編集・制作 等</li> </ul>
合計	623,861	82,003	541,858	



## 2 支援方針に基づく取組

本市は、2016年7月に、支援委員会が定めた「市民参加型オリンピック・パラリンピックの実現」と「未来に向けたレガシー創出」に向けた取組を通じて、「地域と市民が元気になること」の具現化を目指し、本市の施策・事業を効果的かつ着実に推進するため、アクションプランを策定し、市を挙げて取組を進めてきました。

本市では、東京2020大会に、すべての市民の皆様に関わっていただくことを目指し、また、支援方針に掲げる10本の柱について、市の様々な施策・事業を推進してきました。

### 【支援方針に掲げる10本の柱】

1 気運を高める取組とスポーツ推進に関する取組

2 ボランティア等の市民参加に関する取組

3 健康増進に関する取組

4 文化・教育に関する取組

5 産業・観光振興に関する取組

6 環境に関する取組

7 共生社会の推進に関する取組

8 救急・医療体制に関する取組

9 安全・安心に関する取組

10 周辺環境整備に関する取組

## 1 気運を高める取組とスポーツ推進に関する取組

大会に向けて気運を高める取組を進めるとともに、大会を契機として、子ども、高齢者、障がい者など、誰もが「いつでも・どこでも・だれでも・いつまでも」気軽にスポーツを楽しむよう、各スポーツ施策に基づく取組を推進しました。

### (1) 東京2020大会の気運醸成

大会開催の1000日前や2年前、500日前、1年前、100日前などの節目となるタイミングを捉え、神奈川県や大会公式スポンサー企業等と連携し、盛り上げの記念イベントを実施したほか、大規模イベントにおいて、オリンピック・パラリンピアン等を招いてのスポーツ教室・講演会などを実施してきました。

また、競技開催会場自治体として、商店街へのフラッグの掲出や、東京2020参画プログラムを積極的に活用しつつ、大会気運の醸成を図るとともに、市民団体との協働により気運醸成の取組やボランティア活動などの市民活動の様子を記録した動画を制作し公開するなど、大会への盛り上げを図りました。



1964年東京大会資料の  
記念展示



大会気運醸成イベント



トランポリン教室  
棟朝銀河選手



水泳教室  
加藤ゆか・佐藤久佳・月岡麻美選手



2016年リオ大会 藤沢市 市民報告会





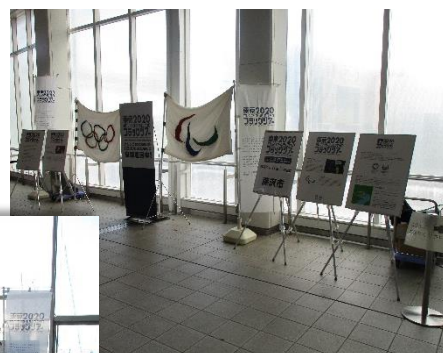
大会1000日前イベント



フラッグツアーセレモニー 神奈川県庁



藤沢駅自由通路



辻堂駅自由通路



市役所新館  
(現分庁舎)



江の島ヨットハーバー



湘南台駅地下イベント広場

オリンピック・パラリンピックフラッグ展示





サンパレットのサイネージ



遊行の盆



大会2年前公開記者発表



大会2年前イベント



宮川麻都・隅田凜選手 市長表敬  
女子サッカー



海堀あゆみ選手  
サッカー教室



湘南台ファンタジアでの  
ホストタウン紹介パネル展示



大会500日前イベント





大会1年前イベント 2019年



日本代表監督 水鳥寿思氏 体操教室



江の島シーキャンドル 大会1年前ライトアップ  
2020年



カウントダウンボード設置



大会100日前オンラインイベント



藤沢駅南口・北口  
に横断幕を掲出

市役所庁舎での  
工事仮囲いを  
活用したPR







総合市民図書館 展示



辻堂市民図書館 展示



南市民図書館 展示



湘南大庭市民図書館 展示

市が作成した  
初期の啓発ポスター



NPO法人湘南遊映坐との協働により市民活動の様子を記録した動画を公開





## (2) セーリング競技の普及啓発

本市江の島が開催会場となるセーリング競技については、2016年のリオ大会で、セーリング競技の様態をパブリックビューイングで放映したことを皮切りに、競技の魅力・ルールを紹介する動画の放映や、藤沢市民まつり、産業フェスタ等、市民の皆様が多く集まる機会を捉え、主催者や競技団体と連携した競技艇の展示や陸上体験会、子どもたちを対象としたセーリング特別授業などを実施しました。また、誰もが参加できるふじさわセーリングフェスタを2017年度以降、毎年開催するなど、競技の普及啓発を図ってきました。

————— 【2016年のリオ大会セーリング競技普及啓発・藤沢市ゆかりの選手の応援】 —————



パブリックビューイングでセーリング競技観戦と解説を実施（藤沢商工会館ミナパーク）



2016年リオ大会のセーリング競技等の様態を市役所新館（現分庁舎）で放映



女子470級出場

吉田 愛 選手

吉岡 美帆 選手

（日本大学生物資源科学部卒）

（藤沢市在住）



レーザーラジアル級出場

土居 愛実 選手

（慶應義塾大学環境情報学部卒）





NHK横浜放送局との共催事業「体感！セーリングの魅力in江の島」  
オリンピックの高橋 賢次 選手にご出演いただき、後日、NHK B S1で放映されました。



賀詞交換会で艇の展示



藤沢市民まつり



セーリング写真展



ミートアップ藤沢

市と市民活動推進機構  
の協働事業

2004年アテネ大会  
セーリング男子470級  
銅メダリストの関一人  
氏を招き実施



藤漣会（公共団体、経済団体などによる連携等を目的とした団体）  
日本セーリング連盟からオリンピックでもある齋藤愛子氏を招き、  
鈴木市長とのトークセッションを開催





セーリング魅力発見クルージング



プールでセーリング体験



牧野幸雄選手（2016年リオ大会出場）のセーリング授業（片瀬中学校・秋葉台小学校）



産業フェスタでのセーリング陸上体験会



セーリング競技ガイドパンフレット



湘南台ファンタジアでのホストタウン紹介パネル展示



セーリングすごろく  
市内の全公私立小学校と特別支援学校（小学部）に配布



セーリングVR体験



【セーリングワールドカップシリーズ江の島大会2018】

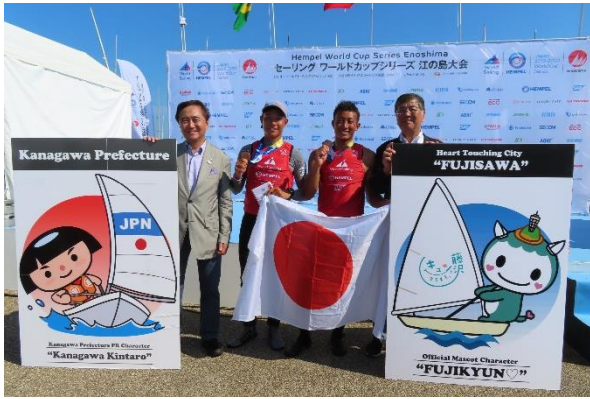


大型ビジョンとステージを設置し、実況解説付きのパブリックビューイングやイベントを開催





【セーリングワールドカップシリーズ江の島大会2019】



「太鼓集団ふじ」のおもてなし演奏



藤沢マイスターのおもてなしブース



セーリングのトラッキングシステム



「帆船 みらいへ」の体験乗船を実施



湘南台駅地下広場でセーリング競技の  
パブリックビューイングを実施



### (3) 海外セーリングチームとの国際交流

2018年・2019年に開催されたセーリングワールドカップシリーズ江の島大会（2020年は新型コロナウイルスの感染拡大の影響により中止）への出場のために本市を訪れた海外のセーリングチームとの交流の取組を積極的に実施しました。

海外の選手関係者と市民の皆様との交流を通じて、東京2020大会に向けた気運醸成とセーリング競技の普及啓発が図られたとともに、外国の言語や文化に関心と理解が深まり、国際理解や多文化共生の推進につながりました。

#### ① 2018年における交流の取組

2018年には、2か国（オーストリア・アメリカ）のセーリングチームと交流を行いました。オーストリアチームとの交流では、チームが滞在していた市内のホテルで、湘南白百合学園の中学生・高校生らが選手関係者に向けて歓迎の演奏を行ったほか、書道体験・浴衣着付け体験を通じた交流を行いました。

また、アメリカチームとの交流では、江の島ヨットハーバーでの艇の紹介などを通じ、選手と同学園小学校の児童らが交流を行いました。



オーストリアチームとの  
書道体験を通じた交流



アメリカチームとの  
江の島ヨットハーバーにおける交流

#### ② 2019年における交流の取組

2019年には、6つの国と地域（スペイン・香港・オーストラリア・ノルウェー・アメリカ・オーストリア）のセーリングチームと交流を行いました。スペインチームとの交流では、江の島ヨットハーバーで湘南白百合学園の小学校児童らが七夕の短冊に願いを込め、笹に飾り付けを行う交流を、香港チームとの交流では、湘南学園の中学生・高校生らが、同学園のカフェテリアで香港にちなんだ献立を作り、昼食を囲んで食文化を理解する交流を行いました。

また、オーストラリアチームとの交流では、選手が市内高校生セーラー等に海上でのセーリング指導を行うなど、競技を通じた交流を行いました。



スペインチームとの  
七夕文化交流



香港チームとの  
食文化交流



オーストラリアチームとの  
海上での交流

ノルウェーチームと藤沢市立長後小学校の交流及びアメリカチームと同市立天神小学校との交流では、児童らが作成したメッセージ・イラストをシート化し、これらを機材運搬用のコンテナに貼付して応援する取組を実施しました。アメリカチームとの交流の際には、JAさがみにご協力をいただき、市内の生産者からご提供いただいた枝豆やトマト、梨やぶどうなどの農産物をふるまい、おもてなしを行いました。

また、オーストリアチームと藤沢市立村岡中学校との交流では、生徒による吹奏楽での歓迎演奏や浴衣を着て踊り披露を行ったほか、オーストリアの民族衣装を着用した選手が、生徒とともに輪になって踊りを踊るなど、文化交流を図りました。



ノルウェーチームへの  
メッセージシート贈呈



アメリカチームへの  
メッセージシート贈呈



オーストリアチームへの  
吹奏楽のおもてなし



セーリング艇の  
陸上乘船体験



藤沢産農産物のふるまい



選手と生徒が踊りで交流



### ③ 日本文化によるおもてなしの取組

2018年は、セーリングワールドカップシリーズ江の島大会の開催にあわせ、江の島北緑地広場で、江の島を始めとした地元の皆様による「ウェルカムフェスティバル」が開催され、選手関係者に対し、江の島ヨット音頭や和太鼓などを披露し、おもてなしを行いました。また、藤沢市文化団体連合会及び藤沢市技能職団体連絡協議会、藤沢商工会議所女性会のご協力をいただき、日本文化の体験イベントを通じて様々なおもてなしを行いました。



藤沢市技能職団体連絡協議会による文化体験ブース  
藤沢マイスターによるおもてなしブース

藤澤浮世絵館による  
浮世絵すり体験



藤沢市文化団体連合会による和楽器演奏・書道体験・華道体験

2019年の同大会でも、地元の皆様による「ウェルカムフェスティバル」が江の島ヨットハーバーで開催され、選手関係者に、江の島ヨット音頭や和太鼓などを披露し、おもてなしを行いました。また、藤沢市文化団体連合会及び藤沢市技能職団体連絡協議会、藤沢商工会議所女性会らのご協力のもと、着物の着付け・華道・書道体験や、和菓子のふるまい、野点<sup>のだて</sup>などのブースを出展し、選手関係者を日本文化でおもてなししました。



藤沢商工会議所女性会による野点<sup>のだて</sup>



藤沢マイスターによる和菓子のふるまい



藤沢市技能職団体連絡協議会  
による着物の着付け



藤沢市文化団体連合会による華道体験・書道体験



#### (4) パラスポーツの普及啓発

本市では、東京2020パラリンピック競技大会の開催を、パラスポーツの普及を進めるまたとない好機と捉え、子ども、高齢者、障がい者など、誰もが「いつでも・どこでも・だれでも・いつまでも」スポーツに親しみ、健康で豊かなスポーツライフを確立できるよう、パラリンピアン教室や、パラスポーツフェスタ、ボッチャ競技大会、各公民館におけるパラスポーツ体験講座など、大会開催を契機として、パラスポーツの普及啓発は、今大会のレガシーとして継続して取り組んでいきます。



パラアスリートのちから

車いすバスケットボール・西村 元樹 選手



パラ卓球・岩淵 幸洋 選手（東京2020大会出場）



ふじさわパラスポーツフェスタ



ふじさわボッチャ競技大会



ボッチャ競技体験コート  
市役所本庁舎5階ロビー





ふじさわセーリングフェスタ  
誰もが安心してセーリングを楽しめるハンザクラスを使用



ふじさわパラスポーツ体験教室  
ゴールボール・安達 阿記子 選手 (2012年ロンドンパラリンピック 金メダリスト)



FUJISAWA ラグビー Day!  
車いすラグビー・若山 英史 選手 (2016年リオパラリンピック 銅メダリスト)



### 障がい者スポーツ関連団体との連携事業

認定NPO法人スペシャルオリンピックス 日本・神奈川の主催により、知的障がいのある人が様々なスポーツ競技に挑戦する姿を捉えた写真展「スポーツで広がる可能性」を市役所本庁舎で開催。

## 2 ボランティア等の市民参加に関する取組

大会を契機として、市民参加型の大会を具現化するため、多くの市民の皆様、様々な形で大会に関わっていただく取組を積極展開し、さらには、「チームFUJISAWA2020」の立ち上げに向けて事業を進めていくなかで、大会後における本市のボランティア活動の更なる推進と充実を図るための礎を築きました。

### (1) 2020応援団 藤沢ビッグウェーブ

藤沢ビッグウェーブは、オリンピック・パラリンピック開催という、またとない機会を、市民を始め多くの皆様、様々な形で大会に関わり、楽しんでいただくとともに、大会後においても、その一体感を後世につなげ、大会を通じて得た一体感や、オリンピック・パラリンピックならではの経験を、本市のレガシーとすることなどを目的に、特定非営利活動法人藤沢市民活動推進機構との協働事業として、2018年4月に発足しました。

「2020応援団 藤沢ビッグウェーブ」の名称は、10代から20代の団員約30人が集まり、藤沢のまちに応援の大きな波を起こしたいとの思いを込めて、みんなで決めました。

藤沢ビッグウェーブの取組としては、設立記念イベントを皮切りに、団員の皆様への大会関連情報の発信を始め、本大会に向けた盛り上げイベントの実施、更には、団員の皆様による自発的な活動を促し企画づくりを目指すワークショップ「アイデアソン」の実施など、市民参加型の大会を具現化するための基軸となる取組として、発足から現在に至るまで、多岐に渡る事業を展開してきました。

藤沢ビッグウェーブは、東京2020大会の終了に伴い、その役割を終え、2022年3月末日をもって解散となります。これに伴い、団員の皆様には「チームFUJISAWA2020」への登録などを積極的に働きかけるとともに、引き続き、多くの方々の熱意やアイデア、ノウハウを、藤沢のまちの元気に確実につなげていけるよう、市民の皆様とともに取組を進めてまいります。

#### ① 設立イベント

藤沢ビッグウェーブの設立を記念して、オリンピック・パラリンピアン等を招いての結成式や、江の島さざ波会・夕波会による「江の島ヨット音頭」の踊り披露などのステージパフォーマンス、ボッチャミニ体験・セーリングのロープワーク体験などの盛り上げイベントを実施し、多くの市民の皆様にご参加いただきました。

日 時 2018年3月31日(土) 13時～16時

会 場 藤沢市役所本庁舎 5階会議室、1階ラウンジ、サンセット広場





## ② アイデアソン

藤沢ビッグウェーブの団員が自ら企画を出し合い、仲間を見つけ、活動を始めするため、アイデア出し・グループづくりを行うワークショップ「アイデアソン」を開催しました。約100人の団員が集まり、自分のやりたいことや、サポートできることなど、大会に向けた活動のアイデアが生まれました。

日 時 2019年3月23日（土） 14時～18時

会 場 日本大学湘南キャンパス食堂棟3階

参加者数 101人



## ③ 団員による自主企画活動

アイデアソンの開催などを契機として、団員による活動が本格化し、大会を盛り上げる多くの自主企画の活動が実現しました。

### 【主な自主企画活動】

#### (a) 遊行の盆でおどろう

おそろいの法被を着て、2019年の市民まつりや遊行の盆で、ヨット音頭などを披露しました。企画会議、関係各所への申請、補助金の申請を実施し、練習会を重ね、踊りの披露によって本大会に向けた気運を高めることができました。



#### (b) 創作紙芝居「人間愛の金メダル」

団員有志である大学生などが、1964年の東京オリンピック・ヨット競技で「人類愛の金メダル」と新聞報道された実話を基に、オリジナルの紙芝居を制作しました。2019年には、市内ショッピングモールでの上演、2020年には、オンラインでの動画公開を行いました。



(c) 応援団ガイドブック

「東京2020大会をきっかけに藤沢にいらっしゃった方々が、藤沢にもう一度来たくなる。」をコンセプトに、団員有志により、藤沢の魅力に掲載したガイドブックの企画・取材・執筆・編集が行われ、2021年3月、オンラインで公開されました。



(d) 江の島子どもフェスティバル

セーリングをテーマにしたオリジナル楽曲を制作し、2019年以降、藤沢市民まつりや市内ショッピングモールなど数多くのステージで披露しました。また、若者の参加・次世代への継承にも取り組み、子ども向けのダンス・ボーカルワークショップを開催しました。



(e) 「浜辺の歌」サンバ2020人で踊ろう！

辻堂駅の発車メロディにもなっている、湘南の海岸をイメージした楽曲「浜辺の歌」をサンバのリズムでアレンジし、2019年のアイデアソン以降、2020人で踊るプロモーションビデオの制作を通じて、湘南の魅力を伝える活動を行いました。



(f) サンドアート&ビーチクリーン

2019年6月、江の島周辺のビーチクリーンを行うと同時に、イルカのサンドアート制作を楽しみながら団員同士が交流するイベントを実施しました。





## (g) みんなの歌をひとつに

<NHK>2020応援ソング「パプリカ」、  
「SMILE～晴れ渡る空のように～」、  
「世界に一つだけの花」の3曲の歌唱  
動画を団員から募集し、一つの映像に  
まとめた「合唱動画」を制作しました。  
動画は、2021年3月、東京2020大会に  
向けたエールとして、オンラインで公  
開しました。



## ④ 記念イベント

## (a) 団員1万人突破記念 市長公開記者発表

団員の登録者数が1万人を突破したことを記念して、団員限定の市長公開記者発表を実施しました。2016年リオ大会まで3大会連続でセーリング競技に出場した牧野幸雄氏と、女優の釈由美子氏をゲストに迎え、トークセッションなどを行い、東京2020大会に向けた気運を高めました。

日 時 2018年11月30日 (金)  
15時～16時  
会 場 藤沢市役所本庁舎  
3階会議室  
参加者数 150人



## (b) ～ビッグウェーブ再集結！～1年前オンラインまつり

大会1年延期決定後の開催1年前を記念した、オンラインイベントを開催しました。ふじさわ観光親善大使のつるの剛士氏をゲストに迎え、トークセッションを中心に、「延期期間を使ってやってみたい活動」などのテーマをもとに、ライブ配信を視聴している団員からコメントの募集を行うなど、今後の活動を前向きに考えるきっかけづくりを行いました。

日 時 2020年7月23日 (木)  
20時～21時  
会 場 新堀ライブ館  
3階楽友ホール  
視聴者数 932人

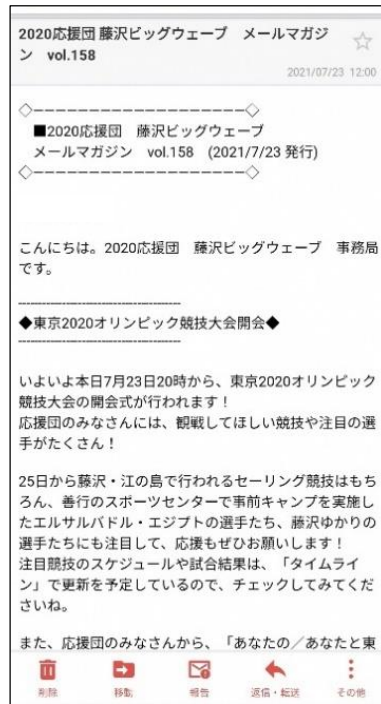


⑤ 情報発信

2018年4月1日のビッグウェーブ設立以降、団員の皆様に対し、大会関連情報やイベントのお知らせなど、SNS（LINE）・メールマガジン合わせて400回を超える情報発信を行ってきました。インターネットの利用環境がない方に対しては、紙面による広報として「<sup>かわら</sup>瓦版」を年に4回程度発行し、幅広く情報をお届けできるよう取り組みました。



LINE



メールマガジン



紙面での情報発信





## (2) シティキャストフジサワ（藤沢市都市ボランティア）

シティキャストフジサワ（藤沢市都市ボランティア）は、セーリング競技の開催会場が江の島に決定したことを受け、市民の皆様が直接的に大会に参加することができる貴重な機会として、政策的に取組を進めてきました。

シティキャストの取組は、2017年6月に「大会関連ボランティア等推進計画」を策定し、この中で、推進ビジョンに「みんなでつなごう！東京2020ボランティア 次世代へ、その先の未来へ」を位置づけ、また、2018年3月には、「藤沢市大会関連ボランティア等実施計画」を定め、これらの計画に基づき、具体的な実施に向けた取組を進めてきました。

### ① 計画の策定

大会を契機としたボランティアに関する取組を効果的に進め、大会後も見据えたボランティア活動の活性化を図っていくことを目的として、2017年6月に「藤沢市大会関連ボランティア等推進計画」を策定し、過去大会におけるボランティア等の状況、各種調査に基づくボランティアの現状分析などから、4つの戦略方針と重点プロジェクトを定めました。

また、「藤沢市大会関連ボランティア等推進計画」で定めた戦略方針・重点プロジェクトを具体的に進めていくため、2018年3月に「藤沢市大会関連ボランティア等実施計画」を策定し、募集及び活動人数等の試算や、本市独自のボランティア事業の展開、実施に向けたロードマップなどについて定めました。

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた「藤沢市大会関連ボランティア等推進計画」

2017年（平成29年）6月  
藤沢市  
未来につなぐ東京オリンピック・パラリンピック 藤沢市支援委員会

東京2020大会開催の「場」を最大限に利用し、市民全員参加によってボランティア活動の定着を図り発展を図ります。

- 東京2020大会の成功に向けて若年ボランティアを中心に募集・研修・教育を効果的に実施し、セーリングの拠点としてスポーツ大衆を交流するボランティア活動、定着させます。
- 都市ボランティアだけでなく、本市独自の多様なボランティア活動の推進により、2020年以降につなげるボランティア活動の視野を広げ、市民参加や関係機関との連携・連携を促していきます。
- 2020年以降を見据えて全てのボランティア活動を分野横断的に連携させる「チーム藤沢」の仕組みを構築します。

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた「藤沢市大会関連ボランティア等実施計画」  
Ver. 1.0

2018年（平成30年）3月  
藤沢市  
未来につなぐ東京オリンピック・パラリンピック 藤沢市支援委員会

(3) 活動区分別の活動計画  
ア 市内・圏外ボランティア  
(ア) 配置計画  
市内・圏外ボランティアの配置場所は次の表のとおりとする。

区	配置場所
南区	701 外瀬（小瀬）小瀬船場
南区	702 江の島（江の島船場）
南区	703 磯原（磯原船場）
南区	704 磯原（磯原船場）
南区	705 磯原（磯原船場）
南区	706 磯原（磯原船場）
南区	707 磯原（磯原船場）
南区	708 磯原（磯原船場）
南区	709 磯原（磯原船場）
南区	710 磯原（磯原船場）
南区	711 磯原（磯原船場）
南区	712 磯原（磯原船場）
南区	713 磯原（磯原船場）
南区	714 磯原（磯原船場）
南区	715 磯原（磯原船場）
南区	716 磯原（磯原船場）
南区	717 磯原（磯原船場）
南区	718 磯原（磯原船場）
南区	719 磯原（磯原船場）
南区	720 磯原（磯原船場）
南区	721 磯原（磯原船場）
南区	722 磯原（磯原船場）
南区	723 磯原（磯原船場）
南区	724 磯原（磯原船場）
南区	725 磯原（磯原船場）
南区	726 磯原（磯原船場）
南区	727 磯原（磯原船場）
南区	728 磯原（磯原船場）
南区	729 磯原（磯原船場）
南区	730 磯原（磯原船場）
南区	731 磯原（磯原船場）
南区	732 磯原（磯原船場）
南区	733 磯原（磯原船場）
南区	734 磯原（磯原船場）
南区	735 磯原（磯原船場）
南区	736 磯原（磯原船場）
南区	737 磯原（磯原船場）
南区	738 磯原（磯原船場）
南区	739 磯原（磯原船場）
南区	740 磯原（磯原船場）
南区	741 磯原（磯原船場）
南区	742 磯原（磯原船場）
南区	743 磯原（磯原船場）
南区	744 磯原（磯原船場）
南区	745 磯原（磯原船場）
南区	746 磯原（磯原船場）
南区	747 磯原（磯原船場）
南区	748 磯原（磯原船場）
南区	749 磯原（磯原船場）
南区	750 磯原（磯原船場）
南区	751 磯原（磯原船場）
南区	752 磯原（磯原船場）
南区	753 磯原（磯原船場）
南区	754 磯原（磯原船場）
南区	755 磯原（磯原船場）
南区	756 磯原（磯原船場）
南区	757 磯原（磯原船場）
南区	758 磯原（磯原船場）
南区	759 磯原（磯原船場）
南区	760 磯原（磯原船場）
南区	761 磯原（磯原船場）
南区	762 磯原（磯原船場）
南区	763 磯原（磯原船場）
南区	764 磯原（磯原船場）
南区	765 磯原（磯原船場）
南区	766 磯原（磯原船場）
南区	767 磯原（磯原船場）
南区	768 磯原（磯原船場）
南区	769 磯原（磯原船場）
南区	770 磯原（磯原船場）
南区	771 磯原（磯原船場）
南区	772 磯原（磯原船場）
南区	773 磯原（磯原船場）
南区	774 磯原（磯原船場）
南区	775 磯原（磯原船場）
南区	776 磯原（磯原船場）
南区	777 磯原（磯原船場）
南区	778 磯原（磯原船場）
南区	779 磯原（磯原船場）
南区	780 磯原（磯原船場）
南区	781 磯原（磯原船場）
南区	782 磯原（磯原船場）
南区	783 磯原（磯原船場）
南区	784 磯原（磯原船場）
南区	785 磯原（磯原船場）
南区	786 磯原（磯原船場）
南区	787 磯原（磯原船場）
南区	788 磯原（磯原船場）
南区	789 磯原（磯原船場）
南区	790 磯原（磯原船場）
南区	791 磯原（磯原船場）
南区	792 磯原（磯原船場）
南区	793 磯原（磯原船場）
南区	794 磯原（磯原船場）
南区	795 磯原（磯原船場）
南区	796 磯原（磯原船場）
南区	797 磯原（磯原船場）
南区	798 磯原（磯原船場）
南区	799 磯原（磯原船場）
南区	800 磯原（磯原船場）

市内・圏外ボランティア配置マップ

## ② 募集開始前の盛り上げイベント

シティキャストフジサワ（藤沢市都市ボランティア）の募集開始に向けて、市民の皆様に参加意欲を高めていただくことを目的とした各種イベントを実施しました。2017年3月の「ボランティアシンポジウム」を皮切りに、過去大会の関係者を招いた「ボランティアフォーラム」や、ボランティアの価値・楽しさを感じていただく「ボランティア講座」「ボランティアワークショップ」など、2019年3月までの間に様々なプログラムのイベントを実施し、募集開始に向けた盛り上げを図りました。



ボランティアシンポジウム（2017年3月）



ボランティアフォーラム（2018年1月、2018年9月）



ボランティア講座（2018年1月、2018年9月）



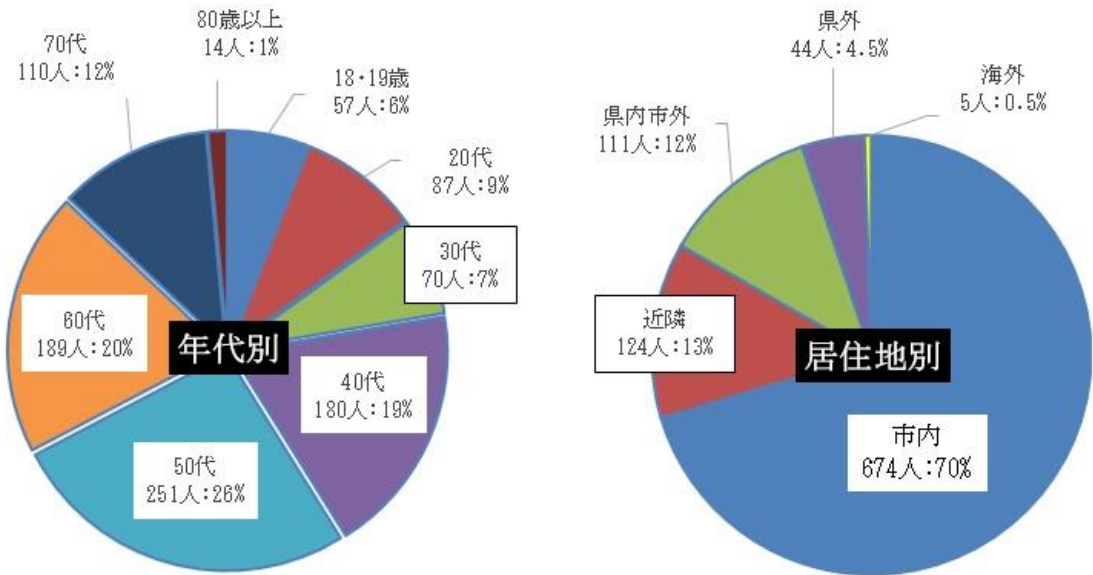
ボランティアワークショップ（2017年11月、2019年3月）



### ③ シティキャストフジサワの登録者の概要

登録者数：958人（リーダー158人 メンバー800人）

※辞退等により最終的な人数は、797人



シティキャストフジサワの年代別・居住地別の割合（登録時点のデータ）

### ④ 募集から活動までの流れ

#### (a) 募集結果

2018年9月26日（水）～12月7日（金）の日程で「藤沢市・都市ボランティア」1次募集としてリーダー候補100人を募集したところ、565人と多くの方にご応募をいただき、2019年1月から2月にかけて面談・選考を行いました。また、外国語観光ボランティアガイドとして、江の島を中心にご活躍されている58人が、リーダーとして新たに加わり、合計158人の方にリーダー候補として活動いただくことになりました。

さらに、2019年4月10日（水）～7月5日（金）の日程で2次募集としてメンバー定員800人程度を募集したところ、2,506人と定員の3倍を超える多くの皆様からご応募をいただきました。1次募集のリーダー候補158人と合わせて、合計958人が都市ボランティアとして活動いただくこととなりました。



区分	募集期間	募集人数	応募者数
リーダー候補	2018年9月26日(水)～12月7日(金)	100人	565人
メンバー	2019年4月10日(水)～7月5日(金)	800人程度	2,506人

(b) 主な活動実績

1次募集終了後にリーダー候補を対象に実施した「リーダー研修」を始め、活動に必要な基礎的知識を学ぶ「共通研修」、6種類の分野から選択して受講する「選択研修」、セーリングワールドカップシリーズ江の島大会において実際に案内・誘導を行う「実地研修」など、様々な研修の実施を通じて、活動に向けた準備を着実に進めてきました。

大会の1年延期決定後は、活動を再始動するためのリスタートイベントのほか、「選択研修」、「救急救命講習」、「新型コロナウイルス対策講習」など、オンラインを積極的に活用して各種研修に取り組んできました。研修の結びとして、具体的な役割や活動内容を確認する「役割別研修」を実施するとともに、ユニフォーム（ポロシャツ・ジャケット・パンツ・シューズ・ソックス・ハット・バッグ）等の配付を行い、万全な体制で活動ができるよう準備を進めました。

無観客での開催が決定し、メインとなる街頭での案内活動は中止となりましたが、代替として、競技会場の江の島ヨットハーバー入口における各国セーリング競技選手関係者のお出迎えや、SNSを活用した動画配信などの活動を実施しました。

年	時 期	活 動 内 容
2019	3月～5月	リーダー研修
	8月～9月	キックオフフォーラム セーリングワールドカップシリーズでの実地研修
	10月～11月	選択研修（観光・英語・リスクマネジメントなど）
	11月～12月	共通研修（集合研修+ eラーニング）
2020	1月～2月	任意研修（国際交流研修、津波避難訓練など）
	11月	リスタートWEBパーティー（オンラインイベント）
2021	1月	選択研修（スポーツ・まちづくり・地域ボランティアなど）
	3月	救命救急講習（オンライン） 新型コロナウイルス対策講習（オンライン）
	6月	役割別研修（リーダー、案内誘導、救護・本部サポートなど） ユニフォーム配付



ブースでの案内ボランティア  
(セーリングワールドカップシリーズ2018)



リーダー研修



ユニバーサル解放デー  
新江ノ島水族館





キックオフフォーラム



実地研修  
(セーリングワールドカップシリーズ2019)



共通研修



選択研修



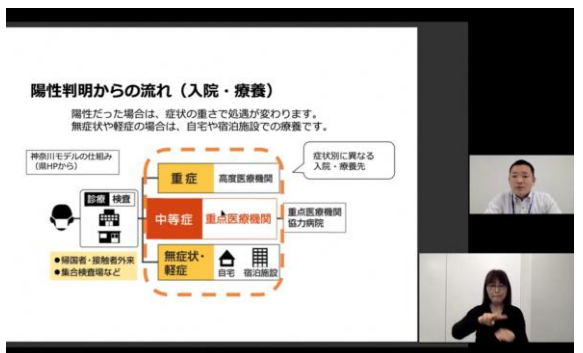
リスタートWEBパーティー



選択研修 (オンライン)



救急救命講習 (オンライン)



新型コロナウイルス対策研修  
(オンライン)



役割別研修



ユニフォームを着用したシティキャストによるおもてなし

### (3) 本市独自企画のボランティア活動

本市では、市民参加型の大会を具現化するための柱の一つとして、市独自企画のボランティア活動を設ける予定で取組を進め、参加者を募りました。この取組につきましては、聖火リレーなど3つの事業のほか、中学生・高校生を対象としたボランティア体験を行う予定で準備を進め、すべての事業へ多くの皆様からご応募いただきましたが、新型コロナウイルスの感染拡大を受け、事業自体を中止・縮小するとともに、感染拡大防止の観点からすべてのボランティア活動を中止といたしました。

活動予定イベント	募集人数	応募者数	中止の主な理由
聖火リレー	300人	396人	聖火リレー公道走行中止のため
事前キャンプ	100人	130人	ボランティア及び選手関係者双方の感染リスク回避のため
ライブサイト	200人	248人	ライブサイト中止のため
中学生・高校生 シティキャスト体験	200人	456人	中高生及び選手関係者双方の感染リスク回避のため



### 3 健康増進に関する取組

本市においては、「健康寿命日本一」を目標に掲げており、人生100年時代に誰もが気軽に楽しく健康づくりに取組めるよう、東京2020大会の開催を契機とした、運動習慣のきっかけづくりや、体づくりに関する啓発事業に取組みました。

#### (1) 私の夢カレンダー

東京2020大会に向けて、市民の皆様が夢や目標を立てることにより、モチベーションを高めて大会までの日々を過ごしていただくことを目的に作成しました。各自の夢や目標を設定し、それに向けた毎日の「あゆみ」を記入していただき、市民一人ひとりの取組をレガシーとしていただくきっかけづくりを行いました。

作成部数 2017年度：6,500部

2019年度：50,000部を増刷

※2019年度は、健康増進の取組「ふじさわ夢チャレンジ2020」と連携し、同応募用紙を組み込んで50,000部を配布



#### (2) ふじさわ夢チャレンジ2020〔健康増進課（現 健康づくり課）〕

東京2020大会を契機に、市民一人ひとりが楽しく気軽に、健康づくりに取り組むきっかけづくりとして、インセンティブを示したポイント付与型キャンペーンとして「ふじさわ夢チャレンジ2020」を実施しました。

期 間 2019年7月末～2020年3月31日（火）

応募総数 905件



#### (3) スポーツ栄養講座（スポーツ推進課）

スポーツに励んでいるジュニア世代・指導者・保護者の方を対象に、公認スポーツ栄養士による「スポーツ栄養講座」をNPO法人湘南栄養指導センターとの協働により開催しました。正しい栄養知識とスキルを習得し、食生活を改善することで、子どもたちの健全育成、競技力向上等を目指して実施しました。

## 4 文化・教育に関する取組

### (1) 文化に関する取組

大会開催を契機に、本市の文化芸術・郷土歴史を国内外に発信していくことを目的として、2018年3月に本市独自の文化プログラムを策定し、本市が誇る文化事業の取組を進めてきました。新型コロナウイルスの感染拡大により、計画していた事業が予定どおり実施できないなかでしたが、セーリングワールドカップシリーズ江の島大会における選手関係者に向けた日本文化の体験イベントなどを通じて、文化都市ふじさわの魅力を国内外に広く情報発信しました。



藤沢市文化団体連合会による文化体験おもてなし



藤沢マイスターによるおもてなしブース



藤沢市技能職団体連絡協議会による文化体験ブース



湘南台アートスクエアプロジェクト



まちの彫刻ピカピカプロジェクト



文化分野の参画プログラム認証事業



## (2) 教育に関する取組

2017年12月に本市が独自に策定した教育プログラムに基づき、オリンピック・パラリンピアンを招いての講演会や、海外セーリング選手との交流などを通じて、努力することや達成することの喜びを学ぶとともに、障がいがある人への理解や、諸外国の文化を学ぶなど、教育全般に関する様々な取組を進めました。

### ① フラワーレーンプロジェクト

選手関係者へのおもてなしの取組として、競技会場内にアサガオを配置するフラワーレーンプロジェクトを実施しました。実施に当たっては、アサガオの種まきから生育、応援メッセージの寄せ書きなどを市内の市立小学校の児童が携わりました。

同プロジェクトのテストとして、2019年8月17日（土）～22日（木）の日程で行われたREADY STEADY TOKYO - セーリング〔オリンピックテストイベント〕において、村岡小・八松小・高砂小の3校が協力して同プロジェクトに取り組みました。3校で生育された450鉢のアサガオは、児童からのメッセージとともに、テストイベント会場に配置されました。

同年6月17日（月）に村岡小で行われた種まきイベントには、東京2020マスコットの「ミライトワ」と「ソメイティ」が駆けつけ、児童の皆様と一緒に種まきを行い、この時の模様は、IOCのホームページから広く国内外に発信されました。また、同年8月19日（月）に行われた「ベニューツアー及びフラワーレーン設置体験」に、同プロジェクトに取り組んだ3校から希望者約50人が招待され、テストイベント会場内の見学とアサガオの設置体験を行いました。本プロジェクトは、セーリングとビーチバレーの2つの競技会場のみで開催され、児童たちにとって貴重な体験となりました。

なお、本大会時には、辻堂小・富士見台小・大鋸小の児童に同プロジェクトにご協力いただき、セーリング選手関係者を360鉢の満開のアサガオがお出迎えしました。



村岡小学校での  
種まきイベントの様子

ベニューツアーの様子



## ② 海外セーリングチームと児童・生徒の交流

【アメリカセーリングチーム と 天神小学校の児童】



選手と児童との交流



J A さがみのご協力による藤沢産農産物のふるまい

【オーストリアセーリングチーム と 村岡中学校の生徒】



選手と生徒が踊りで交流

選手は民族衣装を身に着けて参加



吹奏楽部の生徒から歓迎の演奏



選手と生徒と一緒に記念撮影



【ノルウェーセーリングチームと 長後小学校の児童】



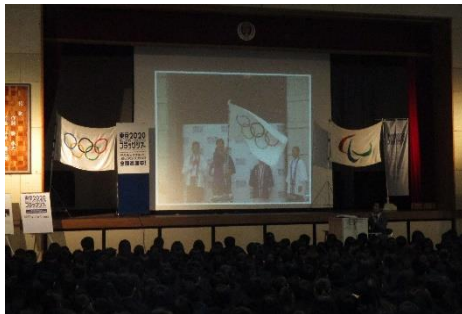
児童からの応援メッセージ・イラストをコンテナに貼り付けるため、シート状にしてプレゼント

③ 東京2020オリンピック・パラリンピックフラッグツアー

大会気運醸成のため、オリンピック・パラリンピックフラッグが全国を巡回するフラッグツアーを実施し、市内の一部の小・中・特別支援学校で展示を行いました。



フラッグツアー小学校訪問 俣野小学校



湘洋中学校（写真）及び 高浜中学校



白浜養護学校

④ セーリングワールドカップシリーズ江の島大会2018の観戦

片瀬小学校3年生の児童が、帆船やまゆりに乗船し、セーリングワールドカップシリーズを観戦しました。



## ⑤ あすチャレ！School

日本財団パラリンピックサポートセンターが、パラアスリートからの講話とパラスポーツ体験を通じて、多様性の大切さなどについての気づきと学びの機会を提供するプログラムを市立小学校・中学校で実施しました。



2017年 片瀬小学校で車いすバスケットボールを実施  
講師 根木 慎志 選手（2000年シドニー大会出場）



2019年 大鋸小（写真左）、高浜中（写真右）、新林小、浜見小の各校でゴールボールを実施  
講師 高田 朋枝 選手（2008年北京大会7位入賞）

2019年は、上記学校に加え、羽鳥中学校でも2004年アテネパラリンピックで銅メダルを獲得した、永尾嘉章選手を講師に迎え、車いす陸上を実施しました。

## ⑥ パラリレーレース

東京2020大会パートナーである凸版印刷株式会社、一般社団法人日本パラ陸上競技連盟等と本市が連携し、大庭中学校の生徒が、2012年ロンドンパラリンピックに出場した花岡伸和選手から、パラリレーレースの実技指導を受けました。指導の成果は後日行われた体育祭で披露されました。



花岡 伸和 選手のパラリレー授業  
（2012年ロンドン大会 陸上競技5位入賞）



体育祭パラリレーレース



⑦ 学校給食

東京2020大会の気運醸成及び、食の重要性を伝えることを目的に、藤沢市ゆかりの5人のオリンピック・アスリートにアンケートを実施し、「思い出の給食」をもとにアレンジした献立を、市立小学校の児童に提供しました。セーリング競技のオリンピックである牧野幸雄選手からは、ボイスメッセージをいただき、給食時間中に校内放送し、アスリートとして食事に気を付けていることや、食に対する思いなどを児童に伝えていただきました。

また、県立スポーツセンターで事前キャンプを実施した3か国にちなんだ給食も提供し、給食を通じて国と食文化などの多様性に関する理解促進に取り組みました。

【藤沢市ゆかりのオリンピック・アスリートの思い出の給食】



ソフトめんミートソース  
吉田 愛 選手  
セーリング女子470級



ビビンバ  
吉岡 美帆 選手



すきやきに  
牧野 幸雄 選手  
セーリング49er級



あげばん  
宮川 麻都 選手  
サッカー女子



ソフトめんごもくあんかけ  
小川 希花 選手  
スケートボード



各国の食文化等を紹介した  
手作り壁新聞を掲示

【事前キャンプ実施3か国にちなんだ給食】



【エジプト】

- ・コシャリ (豆とマカロニ入りトマトソースかけごはん)
- ・モロヘイヤとたまごのスープ



【エルサルバドル】

- ・ポジョフリート (フライドチキン)
- ・フリホーレス (いんげん豆の塩ゆで)



【ポルトガル】

- ・豚肉とあさりのアレンテージョ (アレンテージョ地方の郷土料理)

## 5 産業・観光振興に関する取組

東京2020大会を契機として、更なる産業振興と裾野の広い観光誘客を一層推進するため、開催会場自治体として、江の島に来られる多くの方々を想定し、江の島島内の常設公衆トイレの新設や、多言語の観光案内サインを整備するほか、ホテルの誘致施策を実施するなど、おもてなしの視点で受け入れ環境の整備をすすめました。

### (1) 観光施設の整備（観光課）

観光案内板について、新たに英語など多言語で表記したサイン板を江の島島内や藤沢市片瀬江の島観光案内所前等、ラストマイルを中心とした周辺エリアに設置しました。また、観光客の利便性の向上を図るため、江島神社中津宮前にトイレを新設しました。



江島神社中津宮前に新設したトイレ

### (2) ホテル誘致施策の実施（産業労働課）

「藤沢市企業立地等の促進のための支援措置に関する条例」を改正してホテル誘致を行い、客室数などの要件を満たした2件のホテルに対して税制優遇の決定をしました。



## 6 環境に関する取組

東京2020大会の持続可能性コンセプト「Be better, together より良い未来へ、ともに進もう。」のもとに開催される大会を契機として、環境負荷の軽減、循環型社会の推進を図るとともに、様々な方が快適に活動できるよう、周辺トイレの整備、禁煙対策及び環境美化イベントによる意識啓発など、ハード・ソフト両面で取組を進めました。

### (1) 周辺トイレの整備（環境総務課）

東京2020大会セーリング競技開催期間中、誰もが安全に安心して利用できる公衆トイレにするため、公衆便所の便器の洋式化及びバリアフリー化、スロープ等の整備を行いました。



### (2) ラストマイル上の禁煙対策（環境総務課）

東京2020大会セーリング競技の開催期間中、江の島周辺の3駅から競技会場に向かう動線（ラストマイル）上となる江の島弁天橋手前の喫煙スペースを閉鎖し、通行者が快適に往来できるよう、対応を図りました。

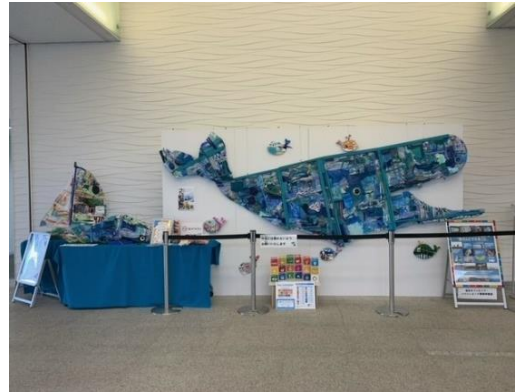


### (3) 環境美化啓発イベント

東京2020大会の開催を契機とした、SDGs、持続可能性等をテーマとした環境美化啓発イベントを神奈川県や環境団体等と連携し実施しました。



片瀬東浜でのスポGOMI



市役所本庁舎1階プロムナードでの  
アートごみ展示

### (4) 環境美化キャンペーン・啓発イベント

一般消費財メーカーのご協力により、「江の島の海とセーリング」をテーマとしたイラストを市内の中学生～大学生を対象として募集し、採用されたものをボディソープのパッケージに使用。売上の一部を、イラスト採用者の所属する学校と協力メーカーで行うビーチクリーンの実施費用に充てました。



### (5) アート展示による環境啓発

持続可能性や環境教育、地球規模の市民参加などをテーマに活動を行う市内の一般社団法人の企画で、在日カナダ大使館からご協力をいただき、海洋プラスチックごみなどを使用した国内外のアーティストによる作品を市役所本庁舎1階に展示し、啓発を図りました。





## 7 共生社会の推進に関する取組

多様性と調和をビジョンの一つに掲げる東京2020大会の開催を契機として、オリンピズムの目的である人間の尊厳保持と平和な社会を目指し、人権尊重の理念の普及啓発を図るとともに、多文化共生や国際交流等の取組を進めました。

### (1) 庁内各課等における取組

庁内各課等において参画プログラムを活用した共生社会の推進に関する講座・イベントや、東京2020大会の立体エンブレムの作成など様々な取組を行いました。

平成29年度 善行公民館 人権講座  
教育プログラム  
「パラリンピアンから学ぶ」  
～勇気をもって自分らしく～  
講師 秋元 妙美氏  
日時 8/19(土) 午後1時30分から3時30分まで  
場所 善行公民館 体育室兼ホール  
対象 市民一般(中学生以上) 70名(先着順)  
参加費 無料  
申し込み 7月19日(水)から善行公民館へ

人権講座  
(善行公民館)

2市1町(藤沢市・茅ヶ崎市・室川町)広域連携事業  
第33回 藤沢市人権啓発講演会  
出会いこそ生きる力  
日時 2018年12月15日(土) 午後1時30分～3時30分  
会場 藤沢市民会館 小ホール  
定員 400名  
第1部 中学生人権作文コンテスト入賞作品の朗読  
第2部 講演会 サヘル・ローズ氏(女優・タレント)

藤沢市人権啓発講演会  
(人権男女共同平和国際課)



立体エンブレム  
(点字図書館)

### (2) 姉妹友好都市との交流 (人権男女共同平和国際課)

姉妹友好都市との親善交流を深めるため、湘南藤沢市民マラソンに国内外の姉妹友好都市を招待し、レースへの参加を通してスポーツ交流や市民交流を図り、友好の輪を広げました。



オープニングセレモニー



参加者同士の交流

2018年時の様子

### (3) 姉妹友好都市からのメッセージ動画（人権男女共同平和国際課）

東京2020大会セーリング競技に姉妹友好都市の皆様を招待し、観戦をしていただく取組を実施予定でしたが、新型コロナウイルスの感染拡大により実施ができなくなったことから、これに代わる親善交流の取組として、国内外の姉妹友好都市の首長や市民の皆様から、大会開催及び選手への応援メッセージ動画をお送りいただきました。

動画は、市役所で実施予定であったライブサイトで放映する目的で制作されたものでしたが、ライブサイトが新型コロナウイルスの感染拡大防止のため中止となったため、本庁舎記念撮影用モニター及び市ホームページで放映しました。



本庁舎記念撮影用モニターでの放映



姉妹友好都市からの大会開催及び選手への応援メッセージ動画



## 8 救急・医療体制に関する取組

東京2020大会を契機として、救急・医療体制について、関係機関・団体との連携強化に努め、神奈川県を始めとする県内自治体等と連携するなど、安全安心の大会実現に当たり万全の対応を図りました。

消防局では、救急隊員が外国人傷病者に対して適切なコミュニケーションを図ることができるよう、多言語音声翻訳アプリ「救急ボイストラ」を全救急隊に配備するなど、救急体制の充実を図りました。

また、市民病院では、大会期間中、医療通訳やコーディネーターを配置するとともに、救命救急センター等の案内サインを英語併記とするなど、外国人患者を受け入れるための整備を行いました。



「救急ボイストラ」の画面イメージ



「救急ボイストラ」を活用した救急活動訓練

## 9 安全・安心に関する取組

東京2020大会を契機として、防災、テロ対策等について、神奈川県等の関係機関や地元各団体との連携協力を図りながら、不測の事態に備えるべく諸対策を推進し、安全安心の大会運営の実現に当たり必要な対策を講じました。

### (1) 各種訓練の実施（危機管理課・警防課）

東京2020大会セーリング競技開催に伴い、江の島周辺での津波災害やテロ災害の発生に備え、関係機関と連携し各種訓練を実施しました。



江の島島内での  
津波を想定した避難訓練



新江ノ島水族館での  
テロを想定した訓練



小田急電鉄片瀬江ノ島駅での  
テロを想定した訓練

### (2) 各種災害対応資機材の整備（警防課）

東京2020大会におけるテロ等の特殊災害への対策を強化するため、各種災害対応資機材の整備等を行いました。





## 10 周辺環境整備に関する取組

東京2020大会の開催を契機として、バリアフリー化等の都市基盤整備と、大会終了後を見据えた周辺環境施設等について、整備を進めました。

### (1) 競技会場周辺の整備

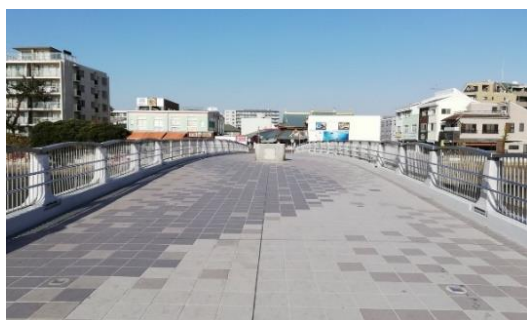
セーリング競技会場の最寄り駅である片瀬江ノ島駅前の交通空間（ロータリー）や駐輪場の整備のほか、鵜沼海岸10号踏切の改良、湘南モノレール湘南江の島駅のエレベーター設置に対する補助、観客動線となる弁天橋の改修など、競技会場周辺における利便性や安全性の向上を図りました。



片瀬江ノ島駅前のロータリー・駐輪場の整備（道路河川総務課・道路整備課）



鵜沼海岸10号踏切の改良  
（道路整備課）



弁天橋の改修（道路維持課）



湘南モノレール湘南江の島駅  
エレベーター設置への補助（都市計画課）

## (2) 県立スポーツセンター西側階段付近へエレベーター設置（道路整備課）

事前キャンプの実施を見据え、拠点施設である県立スポーツセンター西側階段付近にエレベーターを新設し、バリアフリー化の推進を図りました。



県立スポーツセンター西側階段付近に  
エレベーターを設置

## (3) 藤沢駅周辺の整備（藤沢駅周辺地区整備担当）

東京2020大会の開催を見据え、藤沢駅北口ペDESTリアンデッキや交通広場等の再整備を行い、藤沢都心部の活性化に向けた取組を促進しました。また、藤沢駅北口排気塔を、大会開催や藤沢市スポーツ都市宣言を契機として、2022年1月、セーリングデザインにリニューアルしました。



藤沢駅北口ペDESTリアンデッキ（サンパール広場）



藤沢駅北口排気塔



## IV 支援委員会・各種団体等の取組

支援委員会及び各種団体等の皆様による、大会に向けた気運醸成やおもてなしなどの取組に関する記録です。

## 1 未来につなぐ東京オリンピック・パラリンピック藤沢市支援委員会

2013年9月、国際オリンピック委員会（I O C）総会において、2020年夏季大会の開催都市に東京が選ばれたことを受けて、本市では、市民、関係団体と一体となった大会支援が重要であると考え、2014年4月、市民協働組織として「未来（あした）をつかむ東京オリンピック・パラリンピック藤沢市誘致・支援委員会」を設置し、全市的な誘致・支援等の体制を充実させる中で、取組を進めてきました。

その後、2015年6月のI O C理事会において、セーリング競技の開催会場が当初の開催計画で予定されていた東京都江東区若洲から、江の島に変更することが承認され、これを受けて会議体の名称を「未来につなぐ東京オリンピック・パラリンピック藤沢市支援委員会」に変更しました。

支援委員会では、設立後、団体相互の連携を図りながら取り組んできました。

東京2020大会の前哨戦として2018年、2019年に江の島で開催（2020年は新型コロナウイルスの感染拡大により中止）されたセーリングワールドカップシリーズでは、地域活性化を含む大会開催に要する費用面での支援を始め、様々な形で地元として協力するなど、この間、セーリング競技の普及啓発とともに、本大会に向けて地元藤沢を盛り上げていこうと、市を挙げて取組を図りました。

No.	団体名	No.	団体名
1	藤沢商工会議所	11	公益財団法人藤沢市保健医療財団
2	公益社団法人藤沢市観光協会	12	社会福祉法人藤沢市社会福祉協議会
3	一般社団法人藤沢市商店会連合会	13	特定非営利活動法人藤沢市民活動推進機構
4	公益財団法人湘南産業振興財団	14	江の島振興連絡協議会
5	一般社団法人藤沢青年会議所	15	慶應義塾大学湘南藤沢キャンパス
6	藤沢市体育協会	16	日本大学生物資源科学部
7	公益財団法人藤沢市みらい創造財団	17	湘南工科大学
8	公益社団法人藤沢市医師会	18	多摩大学グローバルスタディーズ学部
9	公益社団法人藤沢市歯科医師会	19	藤沢市
10	一般社団法人藤沢市薬剤師会		





## 2 支援委員会の各構成団体における主な取組

支援委員会の各団体では、東京2020大会に向けて、気運醸成を始め、セーリング競技、さらにはパラスポーツの普及啓発等、様々な取組を行っていただき、ご支援・ご協力をいただきました。

### (1) 藤沢商工会議所

東京2020大会・セーリング競技の普及啓発へのご協力に加え、オリンピック聖火リレーや、セーリング選手へのおもてなし活動など、多面的な事業協力をいただきました。

また、セーリングワールドカップシリーズでは、藤沢商工会議所をはじめ神奈川商工会議所連合会の皆様にも、費用面でのご協力をいただきました。



商工会議所青年部主催  
講師に市ヨット協会の加藤 洋氏  
を迎え開催



「会報紙 みなぱーく」に東京2020大会などの情報を  
2017年11月～2021年11月の4年に渡り毎号掲載



2018年9月と2019年8月、セーリングワールドカップシリーズ ウェルカムフェスティバル  
において、商工会議所女性会が選手関係者を野点<sup>の</sup>でおもてなし





藤沢市民まつりのオープニングで  
江の島ヨット音頭と東京五輪音頭-2020-を披露

**2020みんなで踊ろう!**  
**江の島ヨット音頭**

1964年に江の島で東京オリンピックのローグダンス競技が行われ、このときから「江の島ヨット音頭」が制作されました。この音頭は現在でも多くの市民に愛され、多くのイベントで踊られています。今年も、この音頭を披露する機会があります。ぜひ、お友達と一緒に踊りましょう。お申し込みは、お申し込み先にご確認ください。

開催日時：2021年7月22日（木・祝）  
開催場所：藤沢市総合体育センター  
参加費：無料

主催：藤沢市商工会議所女性会  
協賛：藤沢市、藤沢市商工会議所

お問い合わせ先：藤沢市商工会議所女性会  
〒251-8501 藤沢市本町1-1-1  
TEL: 0466-27-8664 FAX: 0466-27-8664

代表者名	代表者 TEL/Fax	TEL	Fax
2019年	6月19日(木)	7月22日(木)	7月23日(金)
時	14:00-15:30		
時	18:00-19:30		



江の島ヨット音頭 踊り講習会（全7回）

本大会開催時に、おもてなしの踊りを皆で披露することを見据え、商工会議所女性会主催により藤沢商工会館ミナパークで開催



2021年7月22日（木・祝） 商工会議所女性会のメンバー等が江の島ヨット音頭・東京五輪音頭-2020-を踊り、競技会場に向かうセーリング選手らをおもてなし



## (2) 公益社団法人藤沢市観光協会

東京2020大会・セーリング競技の江の島開催について、横断幕等の設置、各種紙面や多言語観光ウェブサイトへの掲載、聖火リレーミニセレブレーションへの参画や選手へのプレゼント贈呈、また、外国語観光ボランティアガイドのシティキャスト参加など、様々な広報・おもてなし活動を展開し、多岐に渡って大会にご協力いただきました。

### ① セーリング競技江の島開催決定の横断幕・看板の設置 (2015年)



### ② ふじさわ観光通信へ大会情報を掲載 (2015年)



### ③ 藤沢市観光パンフレット「るるぶ特別編 藤沢」への掲載 (2015年、2019年)



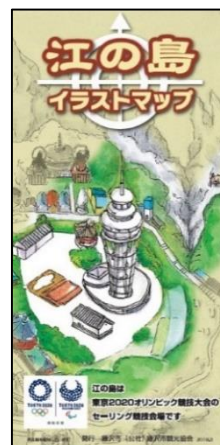
2015年

2019年

### ④ 多言語公式観光ウェブサイト Discover FUJISAWAへの掲載 (2016年～)



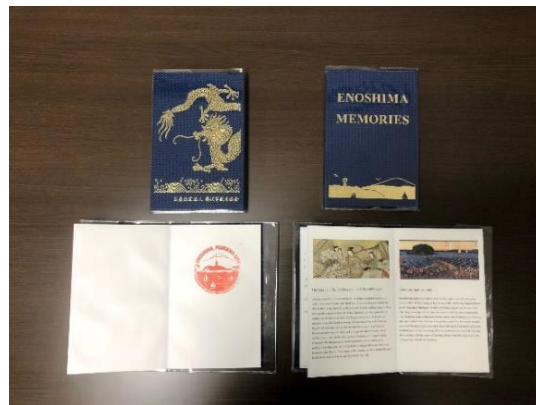
### ⑤ 江の島イラストマップへ大会エンブレムを掲載 (2018年～2021年)



6言語作成

- 日本語
- 英語
- 中文繁体字
- 中文簡体字
- 韓国・朝鮮語
- フランス語

## ⑥ セーリング選手村・事前キャンプで選手関係者にオリジナル御朱印帳の贈呈（2021年）



## ⑦ 江の島ヨット音頭・東京五輪音頭 - 2020 - 披露イベント事務局（2021年）

約200人により、セーリング選手関係者に江の島ヨット音頭・東京五輪音頭-2020-を披露するイベントである「オリンピック聖火リレー江の島ミニセレブレーション運営委員会」の事務局となり、事前準備から当日の運営まで対応いただきました。

また、同イベントで着用したものと同じデザインのオリジナルの法被を、本市が事前キャンプ地となったパラリンピックポルトガル選手団に贈呈しました。



## ⑧ 市のデジタルサイネージでおもてなし動画放映

7月22日（木・祝）に開催したセーリング選手へ、江の島ヨット音頭・東京五輪音頭-2020-を披露した際の様子をまとめた動画を、市役所本庁舎5階ロビーにあるデジタルサイネージで放映し、多くの市民の皆様におもてなし活動の実績を紹介しました。





### (3) 一般社団法人藤沢市商店会連合会

市内10か所の商店街の街路灯フラッグ設置場所、計約400か所に大会エンブレムデザインのフラッグを掲出させていただき、市内全域における大会気運の醸成にご協力をいただきました。



### (4) 公益財団法人湘南産業振興財団

セーリングワールドカップシリーズ江の島大会のダイジェスト映像を、本庁舎のサイネージ等で視聴が可能となるようにデジタルデータの変換の技術協力をいただき、多くの来庁者に映像をご覧いただくことができました。



### (5) 一般社団法人藤沢青年会議所

#### ① 「教えて！オリンピック・パラリンピックのちから～『+1』from FUJISAWA～」の開催

2020年10月、県立スポーツセンターで、東京2020パラリンピックに出場したポルトガルパラリンピック選手団の選手らと、東京2020パラリンピックの水泳で金メダルを獲得した木村敬一選手（東京ガス(株)所属）が出演し、市内の中学生とオンラインで交流を行い、ポルトガルやパラスポーツ、共生社会について理解を深めるきっかけを作ることができました。



ポルトガル選手とのオンライン交流



木村敬一選手とのオンライン交流

## ② オリンピック・パラリンピックをイメージしたカラーのピアノ寄贈

2021年12月、東京2020オリンピック・セーリング競技と、事前キャンプが藤沢市で開催されたことをレガシーとして形に残すために、オリンピック・パラリンピックをイメージしたカラーを施したピアノを市に寄贈していただきました。





## (6) 藤沢市体育協会

### ① 聖火ランナーの集い 2020 江の島セーリング競技の成功を目指して

東京2020大会で、江の島がセーリング競技会場になったことを契機として、1964年東京大会で聖火ランナーを務めた方や関係者などを対象とした会合を2015年度から2019年度まで開催しました。講演の講師には、日本セーリング連盟オリンピック強化委員会の齋藤愛子氏や、2016年のリオ大会セーリング競技の日本代表で、49er級の高橋賢次選手や牧野幸雄選手を迎えるなど、藤沢市全体が一丸となって東京2020大会を盛り上げるために取り組んでいただきました。



2017年10月実施  
講師に高橋賢次選手を迎え開催



2018年12月実施 講師に牧野幸雄選手を迎え開催



### ② スポーツ人の集い

市内のスポーツ関係者が一堂に会し、活動状況報告や意見交換、親睦を深めることを目的に2019年度に開催しました。

講演の講師には、リオ大会まで3大会連続でセーリング競技に出場した牧野幸雄選手を迎え、競技の特徴等を分かりやすくお話いただきました。



2020年2月実施

## (7) 公益財団法人藤沢市みらい創造財団

市のスポーツ推進課や開催準備室と連携し、様々なスポーツ関連事業を実施し、また、体育施設でのチラシ配布・ポスター掲出や、季刊誌での大会PRなど多岐に渡りご協力いただきました。

### ① オリンピック教室 / パラリンピック教室

市と共催で2017年度から2019年度までの3年間開催（2020年度は新型コロナウイルスの感染拡大のため中止）し、様々な競技のオリンピック・パラリンピアンから直接実技を学び、間近で講話を聞く機会を提供しました。子どもたちを始め、多くの市民の皆様が選手との交流を通して、かけがえのない体験をし、選手への応援や大会気運の醸成、パラスポーツの普及につながる取組となりました。



## ② ふじさわセーリングフェスタ

東京2020大会セーリング競技の江の島開催の決定を受けて、2017年度から2021年度まで5年連続で開催しました。セーリング競技の普及啓発は、今大会を契機として継続的に取り組まれています。



## ③ パラスポーツフェスタ / ふじさわボッチャ競技大会

パラスポーツフェスタは、2016年10月「かながわパラスポーツフェスタ2016 in ふじさわ」として、本市と神奈川県との共催で、秩父宮記念体育館で実施した大会を契機に、2017年度以降は、市と同財団の共催で開催され、様々なパラスポーツ体験をとおして、スポーツのノーマライゼーションの推進に取り組みました。（2017年度は荒天により中止、また、2020年度は新型コロナウイルスの感染拡大により中止）

ふじさわボッチャ競技大会は、2017年度に第1回の大会を開催し、続く2018年度まで市と連携して開催しました。（2019・2020年度は新型コロナウイルスの感染拡大により中止）





#### ④ 季刊誌「MIRAI.net」やチラシに大会関連情報を掲載

同財団が年4回発行の季刊誌（発行部数：5,000部）で東京2020大会情報を随時掲載し、公共施設（市民センター・公民館、図書館、体育施設等）で配布し、また2016年リオ大会時には、藤沢市ゆかりの選手についてチラシデザインを作成いただき、広報にご協力いただきました。



2016年リオ大会出場  
藤沢市ゆかりの選手のチラシ

#### ⑤ 事前キャンプの選手団激励

同財団の非常勤職員でパラリンピアンである石井雅史氏と、同財団職員の方に、県立スポーツセンターにお越しいただき、ポルトガルパラリンピック選手団の練習の様子などを見学し、激励していただきました。

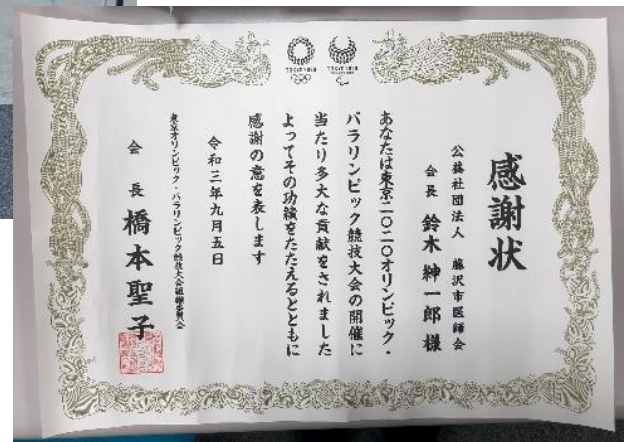


## (8) 公益社団法人藤沢市医師会

大会期間中、セーリング競技会場内の医務室に医師・看護師を常時派遣していただき、安全安心の大会運営にお力添えをいただきました。



大会期間中、医師・看護師がスタッフとして従事



橋本聖子 組織委員会会長から贈呈された感謝状

## (9) 公益社団法人藤沢市歯科医師会

海外から多数の観光客やセーリング競技の観戦客が、本市を訪れることが見込まれるため、南休日歯科診療所に、診療用の翻訳機を備え付け、受け入れ対応の準備を図りました。

また、同団体の敷地内にセーリングデザインのJOC支援自動販売機を設置し、大会気運の醸成にご支援をいただきました。



JOC支援自動販売機の設置



## (10) 一般社団法人藤沢市薬剤師会

アンチドーピング講演会を開催したほか、啓発イベントで、東京2020大会のPRを行っていただくなど、大会の盛り上げにご協力をいただきました。



湘南藤沢市民マラソンで  
アンチドーピングのブースを出展



おくすり週間イベントで  
東京2020大会のPRを実施

## (11) 公益財団法人藤沢市保健医療財団

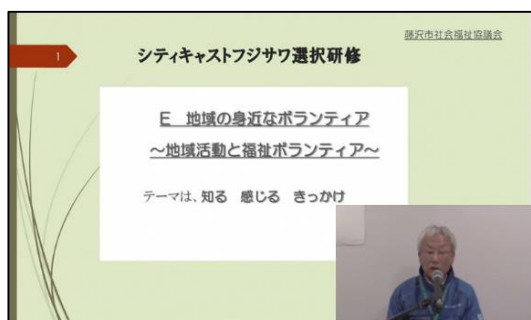
検診等の受診者などに対して、東京2020大会のPRを積極的に行っていただき、また、大会エンブレムポスターの掲出や大会関連事業のチラシ配布等を通じて大会気運の盛り上げにご協力をいただきました。



## (12) 社会福祉法人藤沢市社会福祉協議会

シティキャストフジサワを対象としたオンライン研修で、「地域の身近なボランティア～地域活動と福祉ボランティア～」を題材に、講話をしていただきました。

また、老人福祉センターの利用者等を対象に、江の島ヨット音頭、東京五輪音頭-2020-の講習会の開催や、主催事業でパラスポーツ体験を実施するなど、健康増進や地域福祉の推進等を目的としたイベントの中で、楽しみながら本大会に向けた盛り上げにご協力いただきました。



平成30年度やすらぎ荘サール共催事業  
東京オリンピックを  
盛り上げよう!

### 東京五輪音頭-2020- を踊ってみませんか!

日時 平成31年  
2月14日(木)  
午前10時～正午

場所 やすらぎ荘 1階 大広間  
講師 相良陽子 氏(やすらぎ荘リズム体操講師)  
対象 市民の方などなたでも  
費用 無料  
曲目 東京五輪音頭-2020-の  
持た物 水分補給用飲み物

自由な服装で、お気軽にご参加ください。  
踊りが初めての方も、大歓迎!!  
自分のペースで楽しんで汗をかきましょう  
\*駐車場は台数に限りがありますので、なるべく公共交通機関等  
ご利用いただきますようお願いいたします。\*

お問い合わせ 江の島ヨット音頭-2020-藤沢市民活動推進機構センター(月曜休館日) (月曜休館日)  
〒251-8502 藤沢市藤沢3-20-1 TEL: 81-5628 FAX: 83-4524

## (13) 特定非営利活動法人藤沢市民活動推進機構

藤沢市との協働事業、「藤沢ビッグウェーブ」の事務局として、開催準備室と連携し、LINE・メールマガジンによる大会関連情報の積極的な発信や、大会に向けた気運を高めるイベントの開催、大会を盛り上げる市民の自主的な活動の支援など、市民参加型の大会の実現に向けて様々な取組を進めていただきました。藤沢ビッグウェーブ関連の取組内容については、本記録集内、各所に記載のとおりです。

## (14) 江の島振興連絡協議会

〔さざ波会等の江の島島内の諸団体と実行委員会形式で実施した取組等を含みます〕

セーリングワールドカップシリーズ江の島大会における、文化イベントによるおもてなし、神輿、お囃子、江の島ヨット音頭ほかによる盛り上げを行っていただきました。

また、カウントダウンイベント等、東京2020大会関連イベントでも江の島ヨット音頭、東京五輪音頭-2020-をご披露いただくなど、非常に多岐に渡る取組にご協力をいただきました。









【江の島振興連絡協議会など地元江の島の皆様らによる取組】





### (15) 慶應義塾大学湘南藤沢キャンパス

東京2020大会を題材とした様々な学術分野の市民講座を市と共催で実施しました。学園祭ではボッチャ競技の体験コーナーを設置し、パラスポーツの普及にご協力いただきました。また、本市で事前キャンプを行ったエジプトについて広く市民の皆様にご紹介するため、大学のアラブ文化研究会と協力して、文化PRや動画放映、パネル展示を行いました。



### (16) 日本大学生物資源科学部

日本大学藤沢高校卒業生で2016年リオ大会の競泳に出場した五十嵐千尋選手に、リオ大会の市民報告会にお越しいただきました。また、セーリングワールドカップシリーズ江の島大会2018の開会式で、日本大学藤沢高校の生徒が、参加国のプラカード先導者を務め、オリンピックを目指す選手との交流と、多様性を世界に発信する役割を担いました。



五十嵐千尋選手 (写真右)  
(東京2020大会 競泳出場)

セーリングワールドカップシリーズ  
江の島大会2018 開会式



### (17) 湘南工科大学

学園祭である松陵祭で、本市の文化プログラムの重点プロジェクトに位置付けられているハンドスタンプアートの手形収集と、ボッチャ競技体験ブースの設置を行い、文化振興と共生社会の推進にご協力いただきました。

また、湘南工科大学附属高校（表敬当時）で、アジア競技大会の競泳種目で銅メダルを獲得した小堀倭加選手が、大会結果報告のため市長表敬を行いました。



ボッチャ競技体験ブース



ハンドスタンプアート



小堀倭加選手 市長表敬  
(東京2020大会 競泳出場)

### (18) 多摩大学グローバルスタディーズ学部

藤沢市人権啓発講演会や、藤沢市市民講座2017「東京2020オリンピック・パラリンピックを見据えて」を開催し、多様性や、藤沢市の観光・インバウンド等についての内容で講演を行いました。また、ボランティアの学内説明会や、学園祭でのセーリング写真展、ボッチャ競技体験会などを開催し、東京2020大会開催を見据え、市の取組や大会成功に向けてご協力いただきました。





### 3 市内各種団体等における主な取組

市内の各種団体等の皆様からも、東京2020大会に向けて、気運の盛り上げやおもてなしなど、多岐にわたる取組を通じご支援・ご協力をいただきました。

#### (1) ボランティア企画提案プロジェクト

ボランティア活動の活性化を目的として、ボランティア関連事業提案を募集したところ、28団体の応募があり、11団体が採択されました。



##### <湘南台アートスクエアプロジェクト>

湘南台駅地下広場を、音楽、アートなどの文化や交流の場として盛り上げるボランティアによる取組。イベントでは中学生・高校生による東京2020大会にまつわる絵画も展示されました。



<シェルチャームをセーリング選手村で提供>  
ボランティアの方により、着物の端切れから日本のおみやげとして作られました。

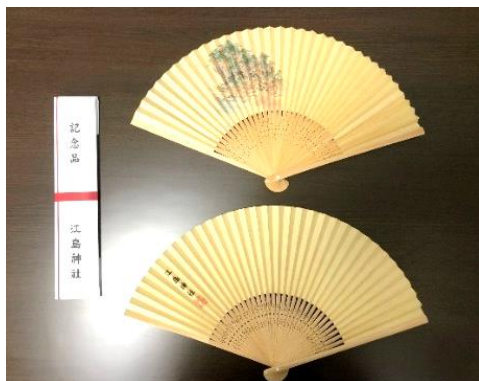


##### <#フジサワの高校生プロジェクト>

高校生が地元を誇りを持ち、街を盛り上げていく活動のきっかけづくりを目指す取組。  
江ノ島電鉄のご協力の下、各駅へポスターを掲出しました。  
また、高校生映像クリエイター募集事業として、PR動画作成を実施しました。

## (2) 江島神社との連携

東京2020大会出場のセーリング選手のために扇子をいただき、セーリング選手村（大磯）で贈呈しました。また、セーリングワールドカップシリーズ開催時には、海外選手のおもてなしの場をご提供いただきました。



## (3) 藤沢市障がい者スポーツ連絡協議会との連携

東京2020大会の開催を契機として、2018年8月に設立された藤沢市障がい者スポーツ連絡協議会では、2019年度から、市と共催でパラスポーツフェスタを開催するなど、障がい者スポーツの普及啓発等に向けて取組を進めています。

2021年8月には、同協議会の種田多化子会長がポルトガルパラリンピック選手団の事前キャンプを視察され、選手たちを激励するとともに、障がい者スポーツの今後の環境整備等に向けて、情報収集を図られました。



種田会長あいさつ  
(パラスポーツフェスタ開会式)



ポルトガルパラリンピック選手団  
事前キャンプを視察

## (4) 地区社会体育振興協議会との連携

市内35地区の地区社会体育振興協議会と連携し、各地区で開催される地区レクリエーション大会などで、東京2020大会の「のぼり旗」を掲げ大会気運の醸成にご協力をいただきました。





### (5) 善行地区社会福祉協議会との連携

善行地区社会福祉協議会広報部会の方が、地区内の県立スポーツセンターを訪れ、事前キャンプを行ったポルトガルパラリンピック選手団の練習風景を見学し、練習の様子を善行地区福祉だよりで練習の様子を情報提供するなど、共生社会の推進に向けて地区内に啓発を図っていただきました。



### (6) 藤沢市内のロータリークラブの取組

東京2020オリンピック・セーリング競技開催期間中、ふじさわ湘南ロータリークラブなど市内の9つのロータリークラブが合同で、江の島を訪れた方へのクールスポットとして、江の島北緑地広場にブースを設置し、熱中症対策のうちわを配布していただきました。



### (7) 藤沢駅前商業施設との連携

フジサワ名店ビルの壁面広告に、藤沢ビッグウェーブをPRする懸垂幕の作成と、掲出場所をご提供いただきました。



## (8) 湘南ジャズ体操ファミリーとの連携

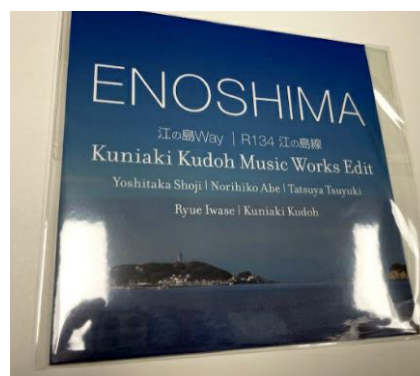
大会500日前イベントをはじめ、多数のイベントで東京五輪音頭-2020-を踊り、また、踊り方の講習会を開催していただくなど、大会気運の醸成にご協力をいただきました。



## (9) 市民有志の皆様からのおもてなし

市民有志の方から、東京2020大会の開催を記念して、おもてなしのために自身が作詞作曲した楽曲を収めたCDを事前キャンプ実施国やセーリング選手へのおもてなしとして、事前キャンプ実施時やセーリング選手村（大磯）でお贈りしたほか、藤沢市民まつり等の気運醸成ブースなどで配架させていただきました。

また、シティキャストフジサワの有志が同じくおもてなしのために制作した手作りの小物などについても、事前キャンプ実施国の選手関係者らにお贈りしました。





## (10) 子どもたちによる事前キャンプ実施国への激励

県立スポーツセンターで、ポルトガルパラリンピック選手団の事前キャンプの実施期間と同時期に、夏休みの子どもの居場所事業「サマースクール」に参加していた児童から、選手関係者へ、応援や歓迎のメッセージが贈られたほか、手旗等による観覧席からの応援や、選手村（晴海）へ出発するバスのお見送りをするなど、激励していただきました。

また、地元善行地区にある児童養護施設の子どもたちが描いた応援メッセージの掲示とともに、同施設で制作した応援メッセージ動画を放映するなどし、激励の気持ちを伝えました。



サマースクールに参加した児童による観覧席からの応援やバスの見送りなど



児童養護施設の子どもたちが描いた応援メッセージの掲示と  
応援メッセージ動画の放映



## (11) 選手関係者への託児協力

江の島ヨットハーバーでの練習時や、セーリングワールドカップシリーズなどの国際大会の開催時における選手関係者の子どもの託児について、市内の保育ボランティア「子育てじゃん・けん・ぽん」の皆様にご協力をいただきました。また、その他、江の島島内の方のご厚意により土産物店の一室を託児場所として提供いただく等ご協力いただきました。



## (12) 東京2020大会パートナー企業との連携

東京2020大会パートナー企業と、イベントでの出展、大会関連グッズ等の協賛、事業協力など多様な連携を図り、大会気運の醸成につなげました。また、本市と包括協定を提携している大会パートナー企業とも連携して取り組みました。

### ① 東京海上日動火災保険株式会社神奈川支店



リスクマネジメントに関する  
職員向けセミナー



ポッチャボール寄贈



職員スポーツ大会にゲスト参加



イベントでのポッチャ体験、ブース出展にご協力



② 東京ガス株式会社神奈川西支店



イベントでのポッチャ体験、ブース出展にご協力



職員スポーツ大会にゲスト参加



東京2020パラリンピック競技大会報道写真展

③ トヨタ自動車株式会社



イベントでの大会啓発用物品の配布・お絵描き用車両のMIRAIの出展



市内外の販売店で藤沢ビッグウェーブのポスター等の掲出



イベントへの神奈川県オールトヨタ販売店アンバサダー 女優 釈由美子さんの出演ご協力



#### ④ コカ・コーラボトラーズジャパン株式会社

JOCオリンピック支援自動販売機の、セーリングデザインを全国で初めて、藤沢市朝日町駐車場の敷地内に設置したほか、市内4か所の体育施設及び、3か所の消防署出張所にも設置しました。東京2020オリンピック聖火リレー点火セレモニーが開催された辻堂神台公園には、聖火リレーデザインの自動販売機を設置しました。

また、本市主催のイベント等に、フォトスポット物品の貸し出しや、飲料の提供をいただき、大会気運醸成にご協力をいただきました。



セーリングデザインの自動販売機



イベントでの飲料提供



聖火リレーデザインの自動販売機



フォトスポット物品の貸出協力



⑤ 日本郵便株式会社



山田恵里選手の地元の御所見郵便局に  
ゴールドポスト設置 全国第1号



市内31郵便局へ藤沢ビッグウェーブの  
ポスターを掲出協力

⑥ 東日本旅客鉄道株式会社横浜支社



藤沢駅自由通路に横断幕設置協力



イベントでのブース出展にご協力

⑦ 総合警備保障株式会社



イベントでのブース出展にご協力



子ども用の制服着用体験・撮影会

⑧ アサヒビール株式会社



イベントでのブース出展  
飲料の提供にご協力



### (13) 鉄道のラッピングによる気運醸成の取組

江ノ島電鉄と湘南モノレールの車体に県内開催4競技デザインの東京2020マスコット・ミライトワをデザインしたラッピングを神奈川県が行い、また、小田急電鉄も同様に東京2020マスコットをデザインした車両を運行し県民や沿線を訪れる観光客などに広く大会開催をPRしました。

なお、江ノ島電鉄は、セーリングワールドカップシリーズの開催をPRするため、セーリング日本代表チームの愛称である「日の丸セーラーズ」のロゴマークをあしらったラッピングトレインも運行し、セーリングの盛り上げを後押ししました。





## V 參考資料

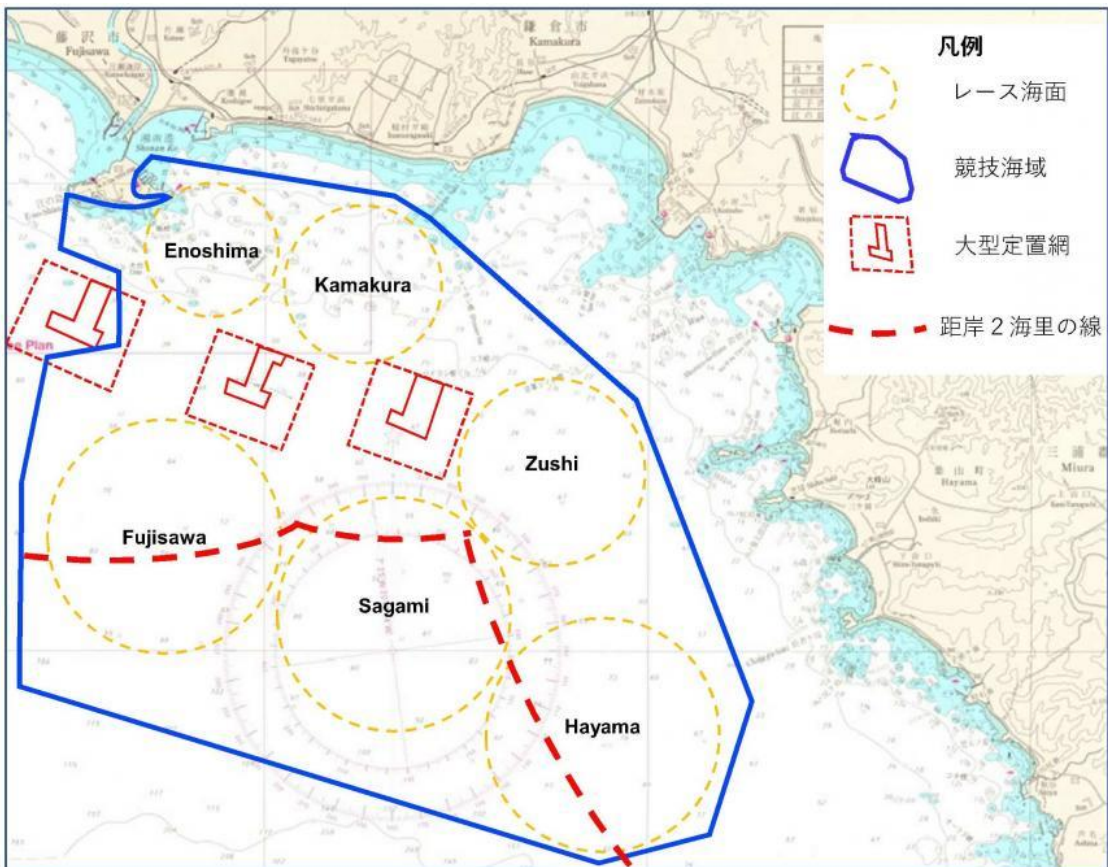


参考写真等



セーリング競技会場の配置図

「観客エリア」は3,600人の観客を収容予定でしたが無観客での開催となりました



セーリング競技のレース海面（全6海面）

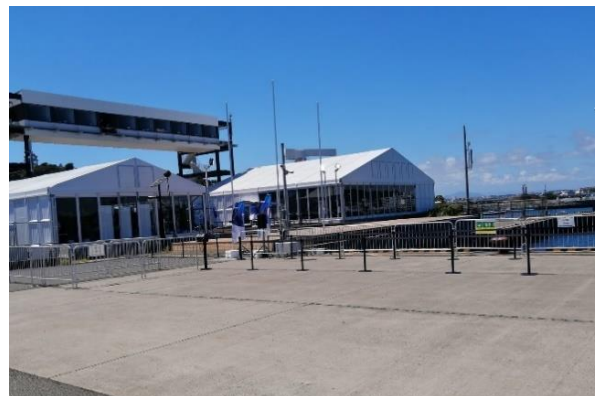
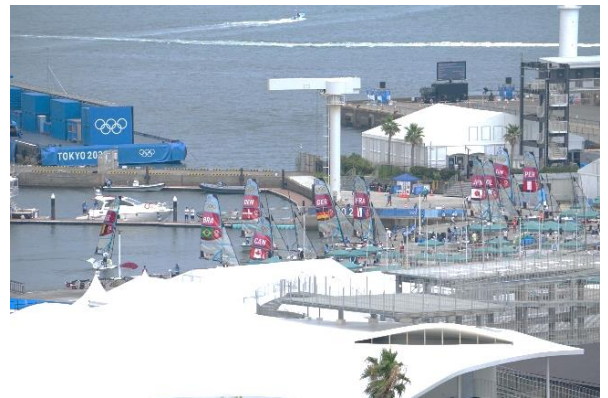
メダル獲得を争う決勝レース（10種目）は、「Enoshima」海面で実施されました



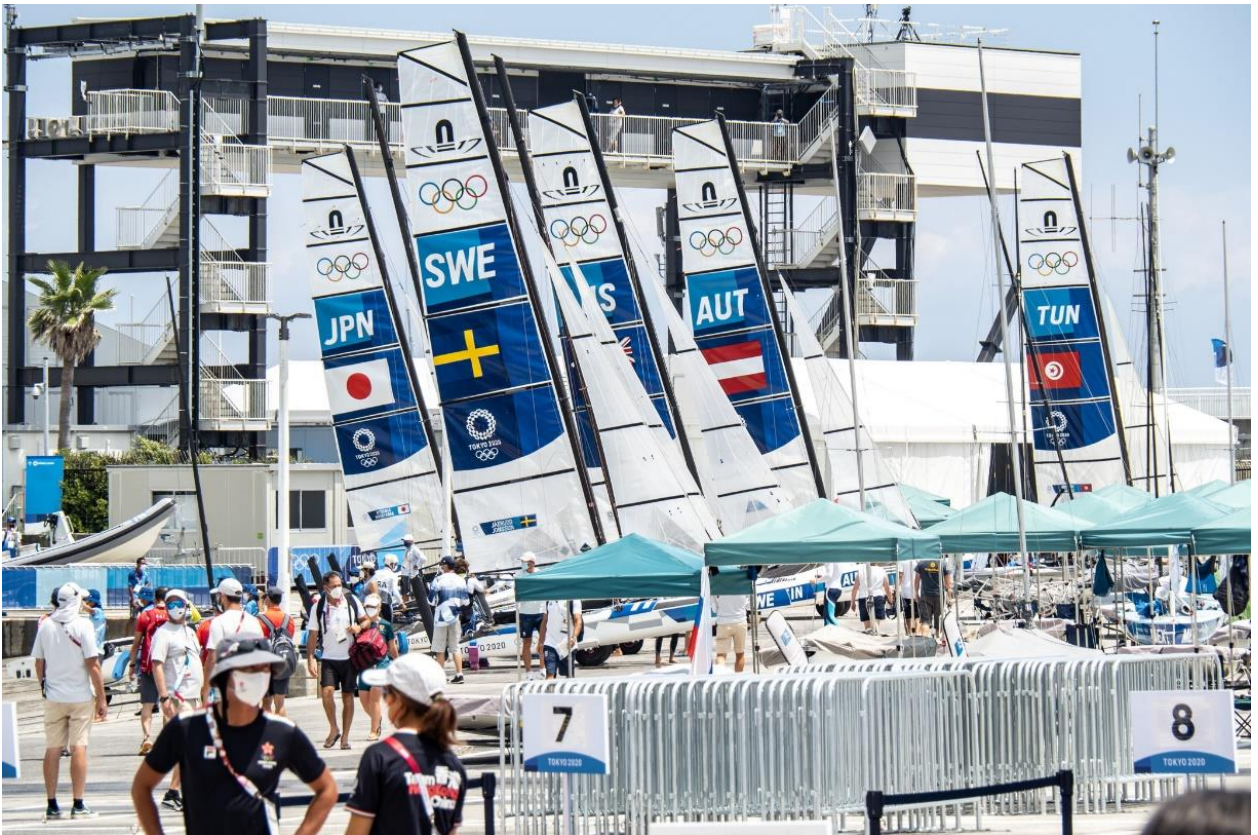
セーリング競技会場の様子



Junichi Hirai / BULKHEAD magazine JAPAN







Junichi Hirai / BULKHEAD magazine JAPAN









江の島ヨットハーバーに設置された、1964年大会の聖火台と2020年大会のモニュメント「湘南の宝石」に合わせてライトアップされました



東京2020大会終了後、日本セーリング連盟が掲出した、応援への感謝を伝えるポスター



日本セーリング連盟が、東京2020大会開催を記念して制作した飲料ラベル



2022年3月にリニューアルした藤沢駅北口地下通路においてサイネージで大会の記録映像を放映



東京2020大会を記念して神奈川県が設置した各種銘板



中津宮広場に2020大会の開催記念と1964大会の振り返りのために設置された銘板



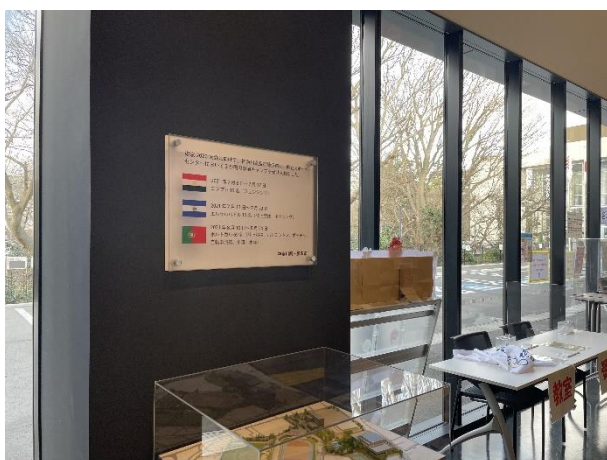
江の島ヨットハーバー内の1964大会の聖火台と2020大会のモニュメントの隣に、それぞれの大会当時の状況が記載された銘板を設置



江の島ヨットハウス前に設置された1964大会と2020大会の概要が記された銘板



江の島ヨットハウス内に設置されたセーリング競技の全10種目の金メダリストと日本代表の全選手の氏名が記された銘板



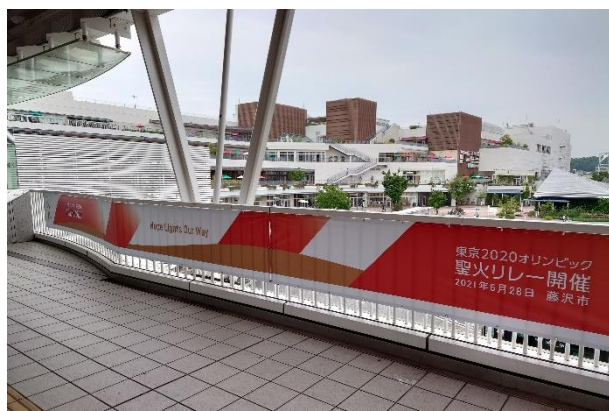
県立スポーツセンター内に設置された事前キャンプを実施した3か国の受入期間及び出場競技等が記された銘板



葉山港管理事務所内に設置されたレースエリア図等が記された銘板



東京2020オリンピック聖火リレー点火セレモニー







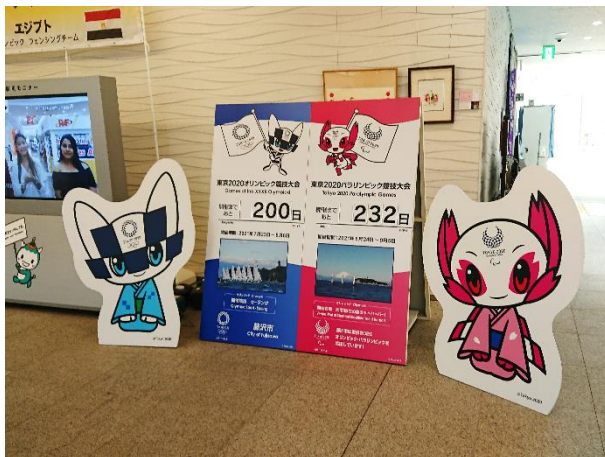
デーカウントダウンボード

大会1000日前イベント時にお披露目され、市役所本庁舎1階に設置したほか、大会関連イベント会場等にも設置



サインボード

デーカウントダウンボードと合体して設置でき、イベント等に参加した著名人・芸能人やオリンピック・パラリンピアンなど約4年間で70人分の名前などがサインされました



デーカウントダウンボード 大会延期後デザイン  
大会の1年延期に伴い、ボードデザインを変更



卓上型デーカウントダウンボード  
市民センター・公民館に設置し気運醸成を図りました



著名人・芸能人やオリンピック・パラリンピアンなどにご協力いただき、市役所庁舎内のデジタルサイネージで大会までのカウントダウン画像を放映





大会2年前を記念して制作した、ミライトワとソメイティのパネルの前で、三浦大輔氏（2004年アテネ大会 銅メダリスト）と鈴木市長がピース



大会1年前を記念して制作した、セーリング競技デザインのミライトワのフォトパネルの前で、立石諒氏（2012年ロンドン大会銅メダリスト）と鈴木市長が1年前ポーズ



セーリング競技で実際に使用される帆にミライトワのデザインシートを貼付けて展示



南海キャンディーズの山崎静代さんが大会1年前オンラインライブイベントの際にセール型のシートに描いた、江の島をモチーフにしたアート  
「え之しま（えのしま）」と描いてあり、「ええしま・えのしま」とも読めるよう思いを込めて描いていただきました。



セーリング競技のレース海面に面した片瀬東浜海岸でスポーツゴミ拾いを開催  
そこで集めたゴミから制作したアートで環境問題を伝える、SDGs アート展を市役所本庁舎1階で開催  
アート制作者：しばたみなみ





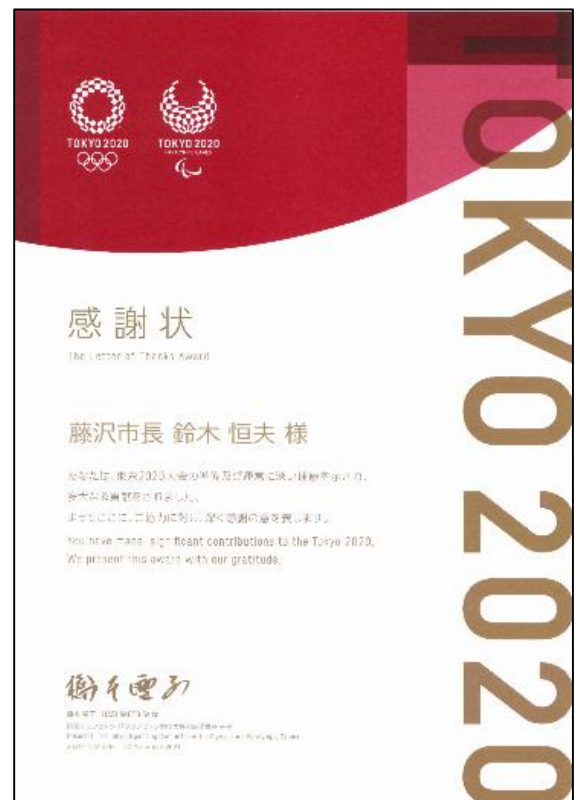
河野博文 日本セーリング連盟会長から藤沢市宛ての、セーリングワールドカップシリーズへの協力に対する感謝状（2018、2019年開催）



日本セーリング連盟から本市に贈られた、東京2020オリンピック・セーリング競技日本代表選手らの氏名が記された記念皿



丸川珠代 東京オリンピック競技大会・東京パラリンピック競技大会担当大臣から藤沢市宛てのホストタウンの取組に対する表彰状



橋本聖子 組織委員会会長から鈴木市長宛ての東京2020大会への協力に対する感謝状

## 東京2020大会関連の年表

年	月日	内 容
2013	9/8	IOC総会で2020年夏季オリンピックの開催都市に東京が選ばれる
2014	1/23	「2020年東京オリンピック・パラリンピック藤沢市庁内推進会議」設置 「平成25年度第1回会議」開催
	2/6	「平成25年度第2回2020年東京オリンピック・パラリンピック藤沢市庁内推進会議」開催
	4/10	「平成26年度第1回2020年東京オリンピック・パラリンピック藤沢市庁内推進会議」開催
	4/17	市民協働組織「未来（あした）をつかむ東京オリンピック・パラリンピック藤沢市誘致・支援委員会」設置 「平成26年度第1回会議」開催
	5/8	「平成26年度第2回2020年東京オリンピック・パラリンピック藤沢市庁内推進会議」開催
	5/15	「平成26年度第2回未来（あした）をつかむ東京オリンピック・パラリンピック藤沢市誘致・支援委員会」開催
	6/10	未来（あした）をつかむ東京オリンピック・パラリンピック藤沢市誘致・支援委員会発足式・記念フォーラム開催
	7/10	「平成26年度第3回2020年東京オリンピック・パラリンピック藤沢市庁内推進会議」開催
	8/5	「平成26年度第3回未来をつかむ東京オリンピック・パラリンピック藤沢市誘致・支援委員会」開催
	8/7	「平成26年度第4回2020年東京オリンピック・パラリンピック藤沢市庁内推進会議」開催
2015	4/9	「平成27年度第1回2020年東京オリンピック・パラリンピック藤沢市庁内推進会議」開催
	4/22	「平成27年度第1回未来（あした）をつかむ東京オリンピック・パラリンピック藤沢市誘致・支援委員会」開催
	5/16	東京都、組織委員会、国際セーリング連盟、日本セーリング連盟が江の島ヨットハーバー、相模湾を視察
	6/8	IOC理事会でセーリング競技会場を江の島（江の島ヨットハーバー）とする変更案が承認
	6/9	「平成27年度第2回2020年東京オリンピック・パラリンピック藤沢市庁内推進会議」開催
	6/9	「東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会セーリング競技江の島開催決定報告会」開催〔神奈川県庁〕
	6/10	「平成27年度第2回未来（あした）をつかむ東京オリンピック・パラリンピック藤沢市誘致・支援委員会」開催
	7/9	「平成27年度第3回2020年東京オリンピック・パラリンピック藤沢市庁内推進会議」開催
	7/16	「平成27年度第3回未来（あした）をつかむ東京オリンピック・パラリンピック藤沢市誘致・支援委員会」開催 委員会名称を「未来につなぐ東京オリンピック・パラリンピック藤沢市支援委員会」に改める
	8/4	「平成27年度第4回2020年東京オリンピック・パラリンピック藤沢市庁内推進会議」開催
10/13	セーリング競技開催記念資料展「東京オリンピックとふじさわ」をJOCと共催で開催〔藤沢市民ギャラリー〕	
12/9	「平成27年12月藤沢市議会定例会総務常任委員会」で取組状況を報告	
2016	2/4	「平成27年度第5回2020年東京オリンピック・パラリンピック藤沢市庁内推進会議」開催
	2/29	「プールでセーリング体験」開催〔八部公園室内プール〕
	3/5	「セーリング体験イベント」を神奈川県と共催で開催〔テラスモール湘南〕



年	月日	内 容
2016	4/27	「平成28年度第1回未来につなぐ東京オリンピック・パラリンピック藤沢市支援委員会」開催
	5/12	「平成28年度第1回東京2020オリンピック・パラリンピック藤沢市市内推進会議」開催
	6/14	「平成28年6月藤沢市議会定例会総務常任委員会」で取組状況を報告
	6/30	「平成28年度第2回東京2020オリンピック・パラリンピック藤沢市市内推進会議」開催
	7/13	江の島ヨットハーバーをIOCのジョン・コーツ副委員長らが視察
	7/20	「平成28年度第2回未来につなぐ東京オリンピック・パラリンピック藤沢市支援委員会」開催
	8/14	「リオ2016大会セーリング競技パブリックビューイング」開催〔藤沢商工会館ミナパーク〕
	6/6	「平成28年9月藤沢市議会定例会総務常任委員会」で取組状況を報告
	9/24	藤沢市民まつりでオリンピック・パラリンピックブース出展（9/24、25開催）
	10/13	「平成28年度第3回東京2020オリンピック・パラリンピック藤沢市市内推進会議」開催
	10/15	セーリング国際大会「江の島オリンピックウィーク」の海上観戦を開催（10/15、16開催）
	10/19	「平成28年度第3回未来につなぐ東京オリンピック・パラリンピック藤沢市支援委員会」開催
	10/22	「第2回 かながわパラスポーツフェスタ2016」を神奈川県と共催で開催〔秩父宮記念体育館〕
	10/29	「リオ2016大会 藤沢市 市民報告会」開催〔ココテラス湘南〕
	12/22	「平成28年度第4回東京2020オリンピック・パラリンピック藤沢市市内推進会議」開催
2017	1/19	「平成28年度第5回東京2020オリンピック・パラリンピック藤沢市市内推進会議」開催
	1/20	「平成28年度第4回未来につなぐ東京オリンピック・パラリンピック藤沢市支援委員会」開催
	2/5	オリンピックの棟朝銀河選手によるオリンピック教室（トランポリン）を開催〔秩父宮記念体育館〕
	2/24	「平成29年2月藤沢市議会定例会総務常任委員会」で取組状況を報告
	2/26	「第2回プールでセーリング体験」開催〔八部公園室内プール〕
	3/2	「セーリング写真展 ～リオから江の島へ～」開催〔市役所新館（現分庁舎）〕
	3/25	「藤沢市ボランティアシンポジウム」開催〔藤沢商工会館ミナパーク〕
	3/29	「平成28年度第5回未来につなぐ東京オリンピック・パラリンピック藤沢市支援委員会」開催
	4/20	「あすチャレ！ スクール」開催〔片瀬小学校〕
	5/25	「平成29年度第1回東京2020オリンピック・パラリンピック藤沢市市内推進会議」開催
	5/27	ふじさわ産業フェスタでオリンピック・パラリンピックブース出展（5/27、28開催）
	5/29	市役所敷地内にJOCオリンピック支援自動販売機のセーリングデザインバージョンを設置
	5/29	「平成29年度第1回未来につなぐ東京オリンピック・パラリンピック藤沢市支援委員会」開催
	6/12	「平成29年6月藤沢市議会定例会子ども文教常任委員会」で取組状況を報告
	6/24	「ふじさわセーリングフェスタ2017 in 江の島」開催（6/24、25開催）〔江の島ヨットハーバー〕

年	月日	内 容
2017	7/15	オリンピックの加藤ゆか、佐藤久佳選手らによる「オリンピック教室（水泳）」を開催〔秋葉台公園屋外プール〕
	8/1	「セーリング写真展 ～Sailing! Coming! Enoshima～」開催〔江の島ヨットハーバー〕
	8/23	「平成29年度第2回東京2020オリンピック・パラリンピック藤沢市市内推進会議」開催
	8/27	「体感！セーリングの魅力in江の島～東京2020オリンピック競技大会セーリング競技会場で学ぶ・楽しむ～」をNHK横浜放送局と共催で開催〔江の島ヨットハーバー〕
	9/4	「平成29年度第2回未来につなぐ東京オリンピック・パラリンピック藤沢市支援委員会」開催
	9/23	藤沢市民まつりでオリンピック・パラリンピックブース出展（9/23、24開催）
	10/25	セーリング国際大会「江の島オリンピックウィーク」出場のアメリカチームと湘南白百合学園の児童が交流を実施〔江の島ヨットハーバー〕
	10/28	「かながわで東京2020大会の感動をともに ～1000 Days to Go!～」（デーカウントダウンボード除幕式）を神奈川県と共催で開催〔テラスモール湘南〕
	10/31	東京2020オリンピック・パラリンピック フラッグの巡回展示を市内9か所で開催（10/31～11/6開催）
	11/16	「平成29年度第3回東京2020オリンピック・パラリンピック藤沢市市内推進会議」開催
	11/21	「平成29年度第3回未来につなぐ東京オリンピック・パラリンピック藤沢市支援委員会」開催
	11/23	「パラスポーツ講演会『共生社会』実現への道」開催〔湘南台文化センター市民シアター〕
	11/25	「藤沢市ボランティアワークショップ」開催〔江の島ヨットハーバー〕
	12/8	「平成29年12月藤沢市議会定例会子ども文教常任委員会」で取組状況を報告
2018	1/4	藤沢市役所本庁舎入口に大会エンブレムの掲出と、1階プロムナードにデーカウントダウンボードを設置
	1/14	「藤沢市ボランティアフォーラム」開催〔湘南台文化センター市民シアター〕
	1/27	「藤沢市ボランティア講座2018」開催（1/27、28、2/3、10開催）〔市役所本庁舎及び六会市民センター〕
	2/1	「平成29年度第4回東京2020オリンピック・パラリンピック藤沢市市内推進会議」開催
	2/3	「（仮称）市民応援団の名前を考えてみよう」ワークショップを開催〔市役所本庁舎〕
	2/22	「平成30年2月藤沢市議会定例会子ども文教常任委員会」で取組状況を報告
	2/25	「第3回プールでセーリング体験」開催〔八部公園室内プール〕
	3/10	「ふじさわポッチャ競技大会」開催〔秋葉台文化体育館〕
	3/23	「平成29年度第4回未来につなぐ東京オリンピック・パラリンピック藤沢市支援委員会」開催
	3/24	「（仮称）市民応援団設立イベント」プレイベント開催〔湘南台駅地下自由通路〕
	3/31	「（仮称）市民応援団設立イベント」キックオフイベント開催〔市役所本庁舎〕 応援団の名称は「2020応援団 藤沢ビッグウェーブ」と決定
	4/1	「2020応援団 藤沢ビッグウェーブ」始動
	5/16	「平成30年度第1回未来につなぐ東京オリンピック・パラリンピック藤沢市支援委員会」開催



年	月日	内 容
2018	5/24	「平成30年度第1回東京2020オリンピック・パラリンピック藤沢市市内推進会議」開催
	5/26	ふじさわ産業フェスタでオリンピック・パラリンピックブース出展（5/26、27開催）
	6/11	「平成30年6月藤沢市議会定例会子ども文教常任委員会」で取組状況を報告
	6/23	「ふじさわセーリングフェスタ2018 in 江の島」開催（6/23、24、30開催）〔江の島ヨットハーバー〕
	7/24	東京2020大会に関する市長公開記者発表を実施
	7/31	生涯学習大学「MY応援エンブレムを作ろう！」を開催〔市役所本庁舎〕
	8/25	「【Tokyo 2020 2years to Go!】東京2020大会はもう目前！2年前記念イベントin神奈川」を神奈川県と共催で開催〔テラスモール湘南〕
	8/31	「セーリングワールドカップシリーズ江の島大会2018」出場のオーストリアチームと湘南白百合学園の生徒が交流を実施〔江の島ヨットハーバー〕
	9/2	「ふじさわボランティアフォーラム」開催〔藤沢市民会館〕
	9/8	「セーリングワールドカップシリーズ江の島大会2018ウェルカムフェスティバル」開催〔江の島北緑地広場〕
	9/9	「セーリングワールドカップシリーズ江の島大会2018」開催（9/9～16開催）〔江の島ヨットハーバー〕
	9/16	「ふじさわパラスポーツフェスタ2018」開催〔秩父宮記念体育館〕
	9/23	「セーリング魅力発見クルージング【東京2020開催まであと2年！】」開催（9/23、24開催）〔江の島ヨットハーバー〕
	9/26	都市ボランティア1次募集（リーダー候補）開始（9/26～12/7）
	9/29	オリンピックの海堀あゆみ選手による「オリンピック教室（サッカー）」を開催〔秩父宮記念体育館〕
	10/19	「ブラインドサッカー体験」開催〔村岡小学校〕
	11/4	「パラアスリートの力～トークショー&パラスポーツ体験～」開催〔秩父宮記念体育館〕
	10/27	「ふじさわボランティア講座」開催（10/27、11/3、17、18、23実施）〔市役所本庁舎及び湘南台市民センター〕
	11/15	「平成30年度第2回東京2020オリンピック・パラリンピック藤沢市市内推進会議」開催
	11/16	「平成30年度第2回未来につなぐ東京オリンピック・パラリンピック藤沢市支援委員会」開催
	11/30	2020応援団 藤沢ビッグウェーブ1万人突破市長公開記者発表を実施
2019	1/31	「平成30年度第3回東京2020オリンピック・パラリンピック藤沢市市内推進会議」開催
	2/17	「藤沢ビッグウェーブサポーターズミーティング第1回」を開催〔農家レストランいぶき〕
	2/24	「第4回プールでセーリング体験」開催〔八部公園室内プール〕
	3/3	「藤沢市ボランティアワークショップ」開催〔市役所本庁舎〕
	3/3	パラリンピアンの中川知希選手による「パラリンピック教室（陸上）」を開催〔秩父宮記念体育館〕
	3/10	「ふじさわポッチャ競技大会」開催〔秋葉台文化体育館〕
	3/16	都市ボランティアリーダー研修を実施（研修①を3/16、17 研修②を3/30 研修③を5/15～5/25実施）

年	月日	内 容
2019	3/16	「～東京2020 開催まであと500日！～ みんなで踊ろう！東京五輪音頭-2020-」を神奈川県と共催で開催〔秩父宮記念体育館〕
	3/27	「平成30年度第3回未来につなぐ東京オリンピック・パラリンピック藤沢市支援委員会」開催
	4/10	都市ボランティア2次募集開始（4/10～7/5）
	4/10	「ヨットの日」としてセーリング艇の展示等を開催〔市役所本庁舎〕
	5/25	大庭中学校の体育祭でパラリレーを実施
	6/1	東京2020オリンピック聖火リレーが藤沢市を通過することを神奈川県が発表
	6/5	組織委員会が「世界環境デー 東京2020スポGOMI大会」を開催〔片瀬東浜海岸〕
	6/8	「ふじさわセーリングフェスタ2019 in 江の島」開催（6/8、9、22開催）〔江の島ヨットハーバー〕
	6/17	「フラワーレーンプロジェクト種まきイベント」開催〔村岡、八松、高砂小学校〕
	7/12	「セーリングワールドカップシリーズ江の島大会2019」出場のスペインチームと湘南白百合学園の児童が交流を実施〔江の島ヨットハーバー〕
	7/13	「セーリングワールドカップシリーズ江の島大会2019」出場の香港チームと湘南学園の生徒が交流を実施〔湘南学園〕
	7/18	「令和元年度第1回東京2020オリンピック・パラリンピック藤沢市市内推進会議」開催
	7/18	「令和元年度第1回未来につなぐ東京オリンピック・パラリンピック藤沢市支援委員会」開催
	7/22	「セーリングワールドカップシリーズ江の島大会2019」出場のオーストラリアチームと市内の高校に在学するセーラーなどが交流を実施〔江の島ヨットハーバー〕
	8/3	「～Tokyo 2020 1 Year to Go!～ 1年前記念イベント in 藤沢」を神奈川県と共催で開催〔テラスモール湘南〕
	8/12	「藤沢市都市ボランティアキックオフフォーラム」開催〔藤沢市民会館〕
	8/12	「セーリングワールドカップシリーズ江の島大会2019」出場のノルウェーチームと長後小学校の児童が交流を実施〔江の島ヨットハーバー〕
	8/19	組織委員会が「江の島ヨットハーバーベニューツアー」を開催
	8/23	「セーリングワールドカップシリーズ江の島大会2019」出場のアメリカチームと天神小学校の児童が交流を実施〔江の島ヨットハーバー〕
	8/24	「セーリングワールドカップシリーズ江の島大会2019」出場のオーストリアチームと村岡中学校の生徒が交流を実施〔村岡中学校〕
	8/25	「セーリングワールドカップシリーズ江の島大会2019ウェルカムフェスティバル」開催〔江の島ヨットハーバー〕
	8/25	「ヘンベル セーリングワールドカップシリーズ 江の島大会2019」開催（8/25～9/1）あわせて都市ボランティアの実地研修を実施〔江の島ヨットハーバー〕
	9/15	「ふじさわパラスポーツフェスタ2019」開催〔秩父宮記念体育館〕
	9/24	ポルトガルパラリンピック委員会、神奈川県、藤沢市の間で事前キャンプに係る三者協定を締結〔神奈川県庁〕



年	月日	内 容
2019	9/28	パラリンピアン若山英史選手による「パラリンピック教室（車いすラグビー）」を開催〔秩父宮記念体育館〕
	10/5	都市ボランティア選択研修を実施（10/5、19、20、27、11/5、14実施）〔市役所本庁舎〕
	10/12	「セーリング魅力発見クルージング【東京2020大会 開催まであと1年！】」開催（10/12～10/14開催）〔江の島ヨットハーバー〕
	11/3	オリンピックで、体操競技男子日本代表監督の水鳥寿思氏による「オリンピック教室（体操）」を開催〔秩父宮記念体育館〕
	11/14	「令和元年度第2回東京2020オリンピック・パラリンピック藤沢市市内推進会議」開催
	11/17	都市ボランティア共通研修を実施（11/17、30、12/1、2実施）〔Fプレイス（藤沢公民館・労働会館等複合施設）ほか〕
	12/9	「令和元年12月藤沢市議会定例会子ども文教常任委員会」で取組状況を報告
	12/23	「令和元年度第2回未来につなぐ東京オリンピック・パラリンピック藤沢市支援委員会」開催【東京2020大会のレガシーとして「スポーツ都市宣言」の制定など東京2020大会を契機としたスポーツ施策の推進について市に要望】
2020	1/25	「東京2020大会・セーリング競技開催記念モニュメント」を神奈川県が設置〔江の島弁天橋北側入口〕
	1/28	「令和元年度第3回未来につなぐ東京オリンピック・パラリンピック藤沢市支援委員会」開催
	1/28	エルサルバドル共和国、神奈川県、藤沢市の間で事前キャンプに係る三者協定を締結〔市役所本庁舎〕
	2/15	「藤沢ビッグウェーブサポーターズミーティング第2回」開催〔新堀学園ライブ館〕
	3/24	東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の延期が決定
	4/2	セーリングワールドカップシリーズ江の島大会2020の中止が決定
	7/21	神奈川県が県立スポーツセンターの供用を開始
	7/23	「～ビッグウェーブ再集結！～1年前オンラインまつり」開催
	10/30	「藤沢ビッグウェーブサポーターズミーティング第3回」をオンライン形式で開催（11/21まで全5回開催）
	11/25	エジプトフェンシング協会、神奈川県、藤沢市の間で事前キャンプに係る三者協定を締結
	11/28	シティキャスト（都市ボランティア）を対象にオンラインイベントを開催
	12/13	「藤沢ビッグウェーブサポーターズミーティング第4回」をオンライン形式で開催
2021	1/21	「令和2年度第1回東京2020オリンピック・パラリンピック藤沢市市内推進会議」開催
	1/22	シティキャスト選択研修をオンライン形式で実施（1/22、23、31実施）
	2/22	「令和3年2月藤沢市議会定例会子ども文教常任委員会」で取組状況を報告
	3/21	「Tokyo2020 100 Days to Go! オンラインライブイベントin 藤沢」開催
	3/29	「令和2年度第1回未来につなぐ東京オリンピック・パラリンピック藤沢市支援委員会」開催
	4/中旬～	藤沢駅周辺、辻堂駅周辺、湘南台駅、善行駅周辺、江の島周辺で順次シティドレッシングを開始（9月上旬まで実施）

年	月日	内 容
2021	6/2	ココテラス湘南及びオンラインでシティキャスト役割別研修を実施（6/2、4～6、6/10～14、20実施）
	6/11	東京2020オリンピック聖火リレーの県内での公道走行中止を神奈川県が決定 市内2か所（市役所本庁舎、片瀬東浜）で予定されていた東京2020ライブサイトの中止が決定
	6/28	東京2020オリンピック聖火リレー点火セレモニー開催〔辻堂神台公園〕
	7/8	セーリング競技会場を含む、東京都、神奈川県、埼玉県、千葉県との競技会場は無観客での開催が決定
	7/8	エジプトフェンシングチームが県立スポーツセンターで事前キャンプを実施（7/8～17実施）
	7/13	エルサルバドル選手団が県立スポーツセンターで事前キャンプを実施（7/13～7/23実施）
	7/22	江の島大橋及び江の島北緑地広場で、江の島ヨットハーバーに向かうセーリング競技選手関係者に向けて、地元の皆様が「江の島ヨット音頭」、「東京五輪音頭-2020-」を披露
	7/23	「東京2020オリンピック競技大会」開会式
	7/25	東京2020オリンピック・セーリング競技開催（7/25～8/4開催）〔江の島ヨットハーバー〕
	8/8	「東京2020オリンピック競技大会」閉会式
	8/10	ポルトガルパラリンピック選手団が県立スポーツセンターで事前キャンプを実施（8/10～24実施）
	8/15	東京2020パラリンピック聖火フェスティバル「藤沢の火」採火式を開催〔市役所分庁舎前〕 東京2020パラリンピック神奈川県聖火フェスティバル「集火・出立式」を神奈川県が開催〔横浜赤レンガ倉庫前〕
	8/16	東京2020パラリンピック競技大会の全競技会場での無観客開催が決定
	8/24	「東京2020パラリンピック競技大会」開会式
	9/5	「東京2020パラリンピック競技大会」閉会式
	9/7	「都筑有夢路選手・藤沢市市民栄誉賞贈呈式」開催〔湘洋中学校〕
	9/24	「山田恵里選手・藤沢市市民栄誉賞特別賞贈呈式」開催〔御所見中学校〕
	10/1	東京2020大会の本市のレガシー 「チームFUJISAWA2020」始動 / 「藤沢市スポーツ都市宣言」制定
	11/27	「ピカピカプロジェクト～東京2020大会・セーリング競技開催記念モニュメント&1964年聖火台～」開催〔江の島ヨットハーバー〕
	11/27	江の島弁天橋北側入口に設置の東京2020大会・セーリング競技開催記念モニュメントを、江の島ヨットハーバー内に神奈川県が移設し、記念式典を開催
	11/27	「藤沢アスリート報告会 ～Tokyo2020・たくさんのARIGATOを届けよう！」開催〔市役所サンセット広場〕
	12/11	「シティキャストフジサワ サンクスイベント」開催〔藤沢市民会館大ホール〕
2022	2/3	「令和3年度第1回東京2020オリンピック・パラリンピック藤沢市庁内推進会議」開催
	2/22	「令和4年2月藤沢市議会定例会子ども文教常任委員会」で取組状況を報告
	3/28	「令和3年度第1回未来につなぐ東京オリンピック・パラリンピック藤沢市支援委員会」開催



藤沢市  
東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会  
開催記録集

<編集・発行>

藤沢市生涯学習部  
東京オリンピック・パラリンピック開催準備室

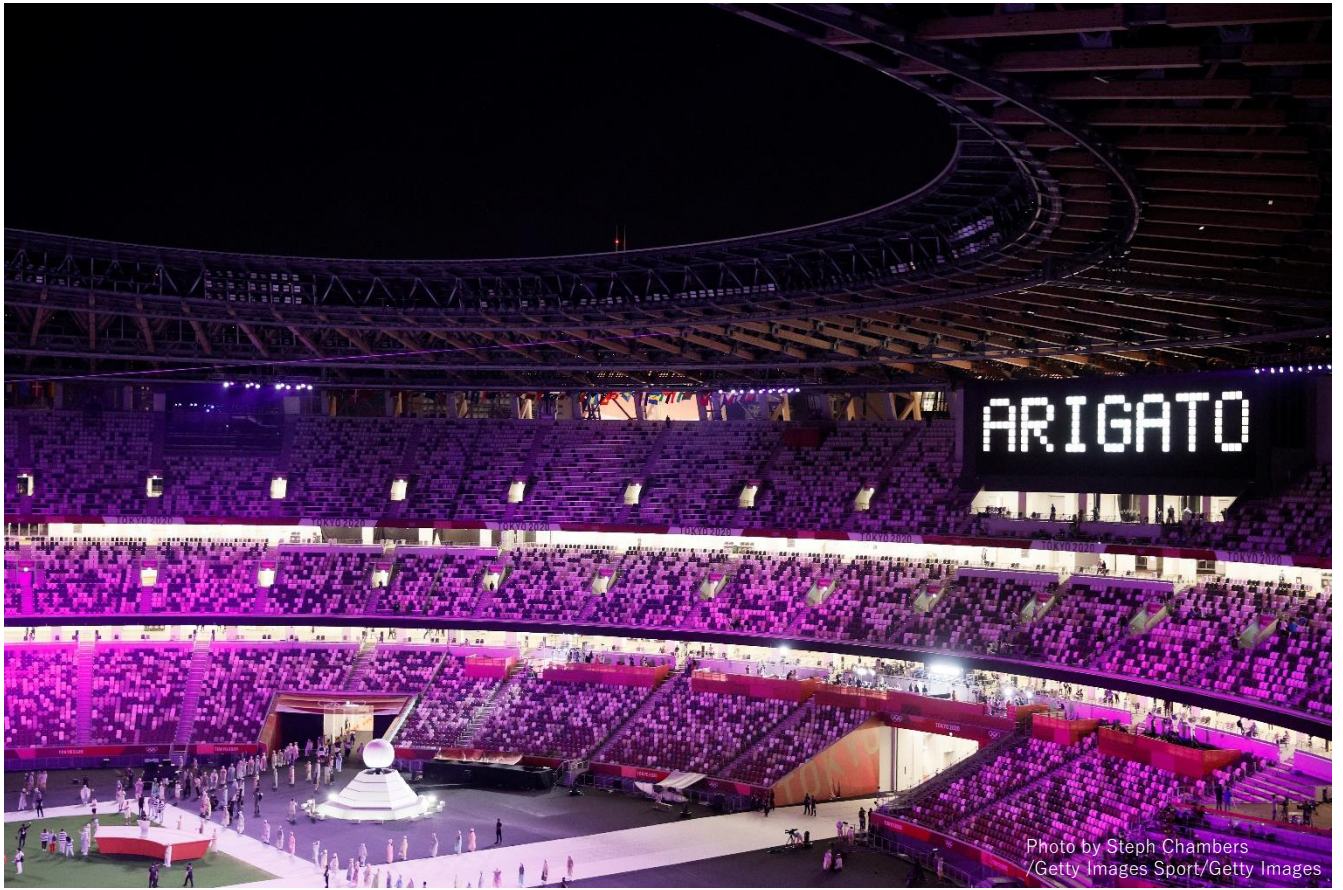
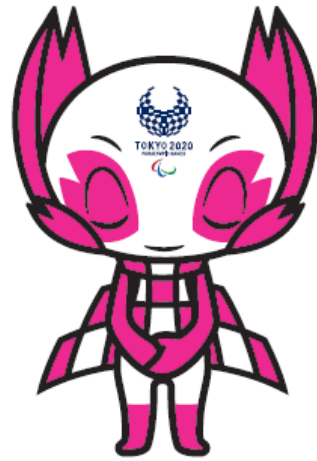


Photo by Steph Chambers  
/Getty Images Sport/Getty Images



©Tokyo2020

<編集・発行>

藤沢市生涯学習部

東京オリンピック・パラリンピック開催準備室